

第七十回帝國議會
衆議院

鐵道敷設法中改正法律案委員會會議錄(速記)第八回

會議

昭和十二年三月二十二日(月曜日)午前十時
十六分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 清瀬規矩雄君

理事植村嘉三郎君 理事本田 英作君

理事佐保 畢雄君

堀内 良平君 天辰 正守君

淺川 浩君 田子 一民君

奥山 龜藏君 石川 定辰君

手代木隆吉君 尾崎 天風君

片山 一男君 塚本 重藏君

林 路一君 岡 幸三郎君

三月二十日理事大本貞太郎君委員辭任ニ付

其ノ補闕トシテ同月二十二日佐保畢雄君理

事ニ當選セリ

三月二十日大正九年法律第五十六號中改正

法律案(北海道拓殖鐵道補助ニ關スル件)

(政府提出)ノ審査ヲ本委員ニ付託セラレタ

リ

出席政府委員左ノ如シ

內務次官 篠原英太郎君

北海道廳長官 池田 清君

鐵道省監督局長 前田 穰君

鐵道省工務局長 山田 隆二君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如

シ

議員 南條 德男君

北海道廳部長 中村 充君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

地方鐵道補助法中改正法律案(政府提出)

橫莊鐵道株式會社所屬鐵道外三鐵道買收

ノ爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出)

大正九年法律第五十六號中改正法律案

(北海道拓殖鐵道補助ニ關スル件)(政府

提出)

○清瀬委員長 是ヨリ會議ヲ開キマス、諸

君ニ御諮ル致シマスガ、理事ノ大本貞太郎

君ガ辭任セラレマシタ、就キマシテ、今マ

デノ先例ニ依リマシテ委員長ガ理事ヲ指名

シテ宜シウゴザイマセウカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○清瀬委員長 然ラバ委員佐保畢雄君ヲ理

事ニ指名致シマス、質問ヲ繼續致シマス

——淺川君

○淺川委員 私ハ連日ノ委員會ニハ、他ノ

委員會ニ出テ居ッテ缺席シマシタノデ、同僚

ノ諸君カラ御尋ヲ致シテ明瞭ニナッテ居ル

カモ知レマセヌガ、唯一點ダケ地方鐵道補

助法ニ付テ伺ヒタイノデス、第二條ノ「補

助金ノ使途ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム」トアリ

マス、此命令ノ内容デアリマスガ、政府ノ

考ヘテ居ル命令ノ内容ニ付テ御漏シ下サレ

バ大變結構ト思ヒマス、是ハ他ノ時期ニ於

テ御説明ニナッテ分ッテ居ルカモ知レマセヌ

ガ、尙ホ簡單ニ要約シテ前田サンニ伺ヒタ

イノデアリマス

○前田政府委員 其點ハ從來カラ鐵道省ニ

於キマシテ補助金ヲ交付シマス前ニ、其交

付シマス補助金ノ使途ニ付キマシテ、色々

會社ト協議ヲ致シマシテ、然ル後ニ補助ノ

指令ヲ出シ、補助金ヲ交付スルト云フコト

ヲ、實際ニ致シテ參ッタノデアリマス、ソレ

ヲ今回法文上ノ根據ヲ作リタイト云フコト

ニ過ギナイノデアリマシテ、使途トシテ命

令デ書キマスル内容ハ、先以テ其會社ノ營

付託議案(審査終了ノモノヲ除ク)

地方鐵道補助法中改正法律案(政府提出)

橫莊鐵道株式會社所屬鐵道外三鐵道買收ノ爲

公債發行ニ關スル法律案(政府提出)

大正九年法律第五十六號中改正法律案(北海

道拓殖鐵道補助ニ關スル件)(政府提出)

業費ニ當ルヤウナモノニ一番先キニ使ヒ、

其次ニハ施設等ヲ改良スルト云フコトノ爲

ニ使フ、ソレカラ其次ニハ借金ノ利子ニ充

當スルコト、云ッヤウナ順序ヲ大體ニ決

メマシテ、サウシテソレノ會社ニ依リ

マシテ必要ノ事情ガ違フ譯デアリマスカ

ラ、ソレハ會社カラ鐵道省ノ方ヘ申出テ

貰ッテ變更ヲ認メル、斯ウ云フヤウニシタイ

ト考ヘテ居リマス

○淺川委員 ソレデハ其餘ハ討論ニ讓リマ

シテ、地方鐵道ニ付テハ質問ヲ終了致シマ

ス

○清瀬委員長 ソレナラバ次ニ一寸提案ノ

理由ヲ御聽キシマセウカ

○篠原政府委員 只今議題トナリマシタ大

正九年法律第五十六號中改正法律案ニ付キ

マシテ御説明ヲ申上ゲタイト存ジマス、北

海道拓殖促進ノ爲メ必要アリト認ムル地方

鐵道及ビ軌道ニ對シマシテハ、御承知ノ如

ク大正九年法律第五十六號ニ依リマシテ、

其營業開始ノ日ヨリ十五年ヲ限リ北海道拓

殖費ヨリ補助ヲ爲シ得ルコトニナッテ居リ

マス、其間鋭意成績ノ向上ト業態ノ改善ニ努メシメ、期間満了ノ際ニ自立ヲシ得ルヤウ指導ヲ致シテ居ルノデゴザイマスルガ、今日其實績ニ見マスルニ、尙ホ自營困難ノ向キモ少カラザル狀況デゴザイマシテ、現行ノ補助期間満了後、若干ノ期間尙ホ引續キ助成ノ必要アリト認メマスルノデ、現行法ヲ改正致シマシテ、政府ニ於テ必要アリト認ムル場合、更ニ五年間ヲ限リ補助期間ヲ伸長シ得ルコトニ改メタイト存ズル次第デゴザイマス、尙ホ鐵道、軌道ノ中ニハ、

既ニ補助期間ノ満了ニナッテ居ルモノモアリマスルガ、ソレ等ニ對シマシテハ、補助期間満了ノ日ニ廻リマシテ本法ヲ適用致シタイト存ジマス、何卒速ニ御審議アラシコトヲ切望致シマス

○淺川委員 只今ノ大正九年法律第五十六號中改正ノ件ニ付テ御尋ヲ致シマス、北海道ノ私設鐵道ハ、從來十五年ノ年限デアリマシタモノヲ、更ニ五年延長シテ下サルト云フ御提案デ、五十六號ニ一項ヲ加ヘルト云フコトデ、之ヲ施行セラル、コトハ、大變結構ノコトデアリマスルガ、延長五年間ノ補助率ヲ御尋スル前ニ、此本法施行ニ付テモ、ヤハリ地方鐵道補助法ト同ジヤウナ工合ニ、勅令ニ依リ補助方法ヲ定メルノデ

アリマスカ、此點ヲ先ツツ伺ヒマス

○前田政府委員 御尋ノ通り勅令ヲ以テ補助率ハ決メル積リデアリマス

○淺川委員 從來北海道ノ補助金ノ計算ニ付キマシテハ、朝鮮、臺灣、樺太等ニナキ公式適用ト云フコトガ用ヒラレテアルノデ、名目ニ假ニ從來ノモノヲ六分ト云フ定メガアリマシテモ、會社ノ收入ハ四分内外ニシカナラナイト云フ實情ニアッタノデアリマスガ、延長五年間ニ於ケル朝鮮ノ實收七分、臺灣ノ實收六分五厘、樺太ノ實收八分ニ比較シマスト、二分乃至三分ノ低率トナルノデアリマス、朝鮮臺灣ニ比較シテ著シク不利ナ立場ニ置カレルコトニナルノデ、五年延長致シマシテモ、從前ノ定率ノ七分乃至九分ヲ適用シテ、且ツ此公式適用ト云フコトヲ、撤廢シテ戴キタイト云フコトヲ、事業者カラ懇切ナ申出ガアルノデアリマス、此點ニ付テノ御所見ヲ伺ヒマス

○池田政府委員 延長期間ガ從來ノ計算方法ヲ變ヘルト云フコトハ、不合理デアルト考ヘマスカラ、ヤハリ同ジヤウナ計算方法デ行キタイ、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○淺川委員 尙ホ質問ノ項目ハ澤山アリマシガ、ヤハリ從前カラ扱ッテ居ッタ慣レタ方

ニ、詳シク政府並ニ道長官ノ意見ヲ聞イテ戴キタイト思ヒマスノデ、他ノ委員ニ譲リマシテ、私ハ此程度ニ止メテ置キマス

○尾崎委員 今回政府ガ提案ニナリマシタ北海道拓殖促進上必要アリト認メル本法ノ改正ハ、政府ガ必要アリト認ムルコトハ前項ノ期間ヲ更ニ五箇年伸長スルコトヲ得ト云フ改正ノヤウデアリマスルガ、ドウモ只今淺川委員カラモ御尋ニナッテ通り、是デハ改正ノ用ヲ私ハナサスト思フノデアリマス、其理由ハ、北海道ノ地方鐵道ガ、内地ノ地方鐵道ト趣ヲ異ニシテ居リマスノハ、少シク説明ガ長クナリマスケレドモ、之ヲ簡單ニ申シマスト、北海道拓殖ハ御承知ノ如ク國策ノ一端デアリマシテ、唯單ニ北海道民ヲ喜バセルトカ、北海道民ノ幸福ノ爲デアルトカ云フヤウナ御考ノ立場カラ、本法ヲ改正セラレルト云フコトハ私ハ當ラヌト思フノデアリマス、是ハ國策ノ一ツデア

ル、ドウシテモ北方開發ノ立前カラ、北海道地方鐵道ガ如何ニ北海道拓殖ニ貢獻シテ居ルカト云フコトヲ先ヅ御認識ニナッテ、本法ノ改正ヲ致サナケレバナラヌデハナイカ、斯様ニ思ヒマス、ナゼカト申シマスト、北海道ハ北海道拓殖費カラ、國鐵ニサヘモ四分乃至五分ノ利子ノ補給ヲ致シマシテ、

サウシテ北海道ノ拓殖ニ貢獻サレテ居ルト云フ狀態デアリマシテ、小資本家ガ相集リマシテ、サウシテ北海道地方ノ開發ニ貢獻シテ居ルノデアリマスカラ、本法ヲ改正致サレル以上ニ於テハ、何カ從來ヨリ變タ所ガナケレバ、私ハ本法改正ノ意味ヲナサス、斯様ニ思フノデアリマス、北海道地方鐵道ガ、御承知ノ如ク國鐵ノ運輸系絡ノ上ニ於テモ非常ニ便利デアリ、又國鐵ノ收益ヲ増加セシムルノニモ、半面非常ナ

貢獻ヲシテ居ルト云フ事實モアルノデアリマス、斯ウシタ點カラ從來ヨリモ變タ所ガ、私ハ本法ニ現レテ居ナイト云フコトヲ遺憾トスルノデアリマス、勅令ニ定ムル所ト申シマスト、ドウモ淺川委員ノ尋ネラレタ通り、其補給ガ五分ニナルカ、四分ニナルカ、乃至ハ八分ニナルカ、見當ガ付カヌ、此地方鐵道ニ關係ノアル諸君ガ、長官ニ或ハ内務省ニ、各機關ソレノ陳情致シマスル時ニ於テハ宜シウゴザイマスケレドモ、苟モ帝國議會ニ御提供ニナッテ、之ニ私共議員トシテ協賛ヲ與ヘルト云フ場合ニハ、聊カ其趣ヲ異ニシテ居ル、斯様ニ思フノデアリ、私共モ是等ノ關係住民ト共ニ、長官ニ或ハ内務省ニ陳情致シマスル時ニハ、ソレハ兎ニ角延長シテ

致シマスル時ニハ、ソレハ兎ニ角延長シテ

戴クノデアルカラ、少シデモ宜ケレバ宜
ト云フ立場カラ陳情ハ致シマスルケレドモ、
荷モ帝國議會ニ本法ヲ提出サレテ改正サレ
ルト云フコトニナリ、私共又議員トシテ、
此國政ニ參與致シテ居リマス者ガ協賛ヲ與
ヘル時ニハ、唯單ニ北海道ノ道民ノコトノ
ミヲ考ヘテ、サウシテ審議ニ當ルト云フ譯
ニハ私ハ參ラヌト思フ、ソコデ何カ茲ニ改
正セラレル以上ニ於テハ目標ガナケレバナ
ラヌガ、只今內務府委員ノ御説明ニ依リ
マス、舊態依然トシテ何等新味ガナイ、
是デハドモ私共ハイカヌト思フ、何トカ
之ニハッキリ何分ナラ何分、内地ノ地方鐵道
ニ對スル國鐵當局ガ從來五分ダツタ、今度
ハ金利ガ下ツタカラ四分ニスルト言フ、兎ニ
角利率ハ低クアリマシテモ

〔委員長退席、佐保委員長代理著席〕

ソコニハッキリシタ目標ガ現レテ居ルノデ
アル、ソレニ依ッテ皆計算ヲ立テマスルケレ
ドモ、是デハドモ勅令ニ依リマスルカラ、
何分ニナルカ見當ガ付カヌト云フコトニ
ナッテ居ルノデアル、政府ハ常ニ庶政一新ヲ
強調セラレテ居リマスルカラ、斯ウ云フ法律
ノ改正等ニ至ッテモ、庶政一新ラシイ所ガナ
ケレバ私ハナラヌト思フ、此勅令ニ委任スル
コトノ弊害ヲ一二例ヲ引イテ申スト、曾テ

濱口内閣ノ時ニ、米穀法ガ統制法ト改正セ
ラレテ、率勢米價デナケレバナラヌト云ッテ
アノ法律ヲ出サレタ、其時分ニモヤハリ政
府ハ其法律ヲ議會ニ出サレテ、サウシテ今
度議員ノ質問ニ對シ答辯者ガ答辯スルコト
ガ出來ナカッタ、ソレデ安藤博士ヲ傭ッテ來
テ、コチラハ松山君ヲ頼ンデ、サウシテ一
騎打ラヤッテ解決シタト云フヤウナコトモ
アル、更ニ又最近ノ內務省關係デ申シマス
ルト、議會ニ選舉法改正法律案ヲ出サレテ
改正セラレタガ、本法ニ依ルト、アノ選
舉ニ對スルヤウナ取締ヲサレルトハ誰モ
思ッテ居ラナイ、所ガ大部分ハ勅令ニ委任サ
レテアルモノダカラ、內務省獨自ノ立場カ
ラ、是モ勅令ニモ勅令トシテ、施行細則ニ
無暗ニ、議員諸君ガ法律ヲ制定セラレタ時
ノ精神ニ反スルヤウナ盛澤山ナ、今ノ警保
局自體デサヘモ解釋ニ苦シムヤウナ勅令ガ
出タノデアル、勅令デ施行細則ヲ決メラレ
タモノニ對シテハ、議員各位モ非常ニ懲リ
懲リトシテ、法律ヲ拵ヘル時分ニハ、成タ
ケ拵ヘヌ方ガ宜イ、恐怖觀念ヲ懷クヤウニ、
アノ勅令デ內務省ハ決定サレタ、サウ云フ
ヤウナ實例ガ殷鑑遠カラズアッテノデアリ
マスカラ、本法ノ改正ハ斯ウ云フ風ニナッ
テ居リマスルケレドモ、何カ茲ニ安心ノ行ク

ヤウナ、淺川委員ガ質問サレタ通りニ、此
北海道ノ地方鐵道二十七ノ會社ノ人ガ、幾
ラ幾ラ迄ナラバ利子ノ補給ガ幾ラデアル、
五分デアルトカ、七分デアルトカ、八分デ
アルトカ云フヤウナコトヲ、明記セラレル
コトガ出來ルカドウカト云フコトガ質問ノ
要點デアル、併シソレガ出來ナイト致シマ
シタナラバ、臺灣トカ、或ハ樺太トカ、朝鮮
トカ云フヤウナ植民地同様ニ、北海道ノ地
方鐵道ニ對シテモ利子ノ補給ノ出來ルヤウ
ナ何カ名目ヲ御考下スッテ、サウシテ此二十
七ノ鐵道會社員ガ安心スルヤウナ方法ハナ
イカ、二十七ノ鐵道會社員ノ安心ハ、北海
道ノミヂヤナイ、前段申上ゲマシタ如ク、
是ハ北海道拓殖ノ上ニ大ナル貢獻ヲ爲シ、
延イテハ國策ノ一端トシテ吾々ハ此本法改
正法律案ノ審議ニ當ッテ居リマスルノデ、ド
ウカ此點ヲ少シ何カ舊態依然タルコトデナ
ク、新味ノアル、庶政一新ニ相應シイ茲ニ
一項ヲ設ケテ戴キタイト云フコトガ、私ノ
質問ノ要點デアリマス、其點ヲ一ツ政府委
員カラハッキリ御所見ヲ伺ッテ見タイト思フ
ノデアリマス

○池田政府委員

御質問ノ要旨ハ、補助率
ヲ勅令ニ依ラズシテ、何カ外ニ形ヲ現ハシ
テ貫ヒタイト云フヤウナ御趣旨ノヤウニ

承ッタノデアリマスルガ、斯ウ云フ補助率
ハ、鐵道省其他ノ例モアルシ、又從來斯様
ナコトハ勅令ニ讓ッテ居リマシテ、勅令デ決
メルト云フコトガ本當ダラウト思ヒマス、
而シテ其利率ノ額ニ付テハ、今回鐵道省ノ
方ノ改正案ニ於キマシテモ、一分下ゲテ居
リマスルカラ、自然北海道ノ地方鐵
道、軌道ニ對スル補助率ハ、之ニ準ジ
テ居ルヤウナ形ニナッテ居リマスカラ、
幾ラカ之ニ準ジテ下ゲルト云フコトニ
ナラウカト考ヘルノデアリマス、併ナガ
ラ、是ハ從來一ツノ慣例——慣例ト言ヒ
マスカ、サウ云フモノガアリマスルノデ、
サウ無暗ニ下ゲルト云フヤウナコトハ、
是ハ決シテ出來ヌ譯デアリマシテ、ヤハ
リ之ニ準ジテ決メルト云フコトガ宜カラ
ウカト考ヘテ居ルヤウナ次第デアリマス、
而シテ地方鐵道ナリ軌道ガ、我ガ北海道ニ
於テ拓殖進展ノ上ニ貢獻致シテ居ルト云フ
コトハ、私共認メテ居ル次第デアリマス、
之ヲ尊重シテ、今回モヤハリ五箇年ノ期間
ノ延長ヲスルト云フコトニ致シタヤウナ次
第デアリマスカラ、其邊ノ補助率ノ程度等
ニ付テハ、決シテ御心配ハ要ラナイカト考
ヘル次第デアリマス

○尾崎委員

公式適用ト云フヤウナコトガ

アリマスガ、是ハ臺灣ヤ樺太ヤ、朝鮮ニハ、之ヲ用ヒテ居ナイト云フノデゴザイマスガ、之ヲ用ヒナイデアル方法ハナイノデゴザイマセウカ、公式適用、私共ハ餘リ斯ウ云フコトハ調ベテ居リマセヌガ、之ヲ適用サレルノデ、二割トカ三割、ドウモ計算ノ上ニ於テ不利ダト、斯ウ云フヤウナコトヲ言フテ居リマスガ、委員諸君カラ皆質問サレルノハ、此點ナンデゴザイマスガ……

○池田政府委員 是ハ北海道ニ於テハ、大體鐵道省ニ準ジテヤルト云フノガ、從來ノ立前ニナフテ居リマスルノデ、今御話ノ樺太ナリ、朝鮮ナリ、臺灣ト云フ、アノ植民地トハソコニ自ラ性質ガ違フドラウト思ヒマス、之ニ付テ北海道ハ特別ダト、斯ウ主張サレル方モアルヤウデスケレドモ、私共ノ見方トシテハ、ヤハリ鐵道省ニ準ジテ計算ノ方法ヲ出ス方ガ宜シイ、故ニ鐵道省デヤツテ居リマスル公式ト言ヒマスカ、ソレヲ先年來ヨリ準用致シテ居ルノデアリマス、ソコデ實際ニ當リマシテハ、多少——マア前ノ道長官時代ノ算定方法ニ比ベルト、幾ラカ其補助率ガ低クナルノデアリマスケレドモ、是ハ已ムヲ得ナイデヤナイカト思フノデス、而モ一方ニ於テハ、此計算ノ方法ニ依リマスルト、鐵道ニ致シマシテモ、軌

道ニ致シマシテモ、其經營ガ極メテ合理化シテ行クノデアリマス、現ニ之ヲ採用致シテ以來、多少放漫ニ流レテ居ルヲ經營ガ引締リ、サウシテ總テノ點ニ付テ合理的ニ經營法ガナツテ行ク、詰リ會社ノ經營ガ著シク向上スルト云フコトニナツテ居リマス、一面又北海道ノ拓殖費ハ、御承知ノ通り是等ノ鐵道、軌道ノ補助ニ充テルニハ洵ニ少イノデアリマシテ、財政ノ遣リ繰上困難ヲ致シテ居リマスルカラ、少シデモ斯様ナ補助ハ外ノ——無論鐵道、軌道ニ對シテモヤリマスガ、經營ガ良ク行キマスレバ、餘ッタ金ハ自然外ノ産業ノ方ニ廻スト云フコトガ宜イノデハナイカト考ヘテ居ルヤウナ次第デアリマス、旁、私共ハ鐵道省ノ計算方法ヲ用ヒルコトガ、最モ適當デアラウト考ヘテ居ルヤウナ次第デアリマス

○佐保委員長代理 宜イデスカ——ソレデハ手代木君

○手代木委員 二三ノ重要ナル點ヲ伺ヒタイト思ヒマスガ、此改正法律案ガ、今回政府ヨリ提出ニナリマシタノハ、洵ニ喜バシイ次第デアルト考ヘマス、既ニ前ニ此延長ノ必要ヲ認メテ、議員提出ノ法律案ガ二回本院ヲ通過シ、貴族院デ審議未了ニナツタ經過ヲ持ツテ居ルノデアリマスカラ、若シ

今回政府ガ提案セラレナケレバ、引續キ議員提出ノ法律案デ、此目的ヲ達シタイト考ヘテ居リマシタノデアリマスカラ、茲ニ政府ガ自ラ提案ニナリマシタコトハ、洵ニ結構ナ次第デアルト思フノデアリマス、而シテ、法案ハ至ッテ簡單ナモノデアリマスルカラ、特段ニ論議ヲ要スル點モナイヤウニ見エルノデアリマスガ、前ニ同僚ノ委員カラ質問サレタヤウナ點ニ付テ、當局ニ重大ナル考慮ヲ促ス意味ニ於テ、御意見ヲ承ラナケレバナラヌ點ガアルノデアリマス、ソレハ第一ハ補助率ノ問題デアリマスガ、是ハ勅令ニ委シテアル譯デアリマスカラ、其程度ガ幾ラデアアルカト云フコトハ、ハッキリ致シテ居リマセヌケレドモ、只今長官ノ御答辯ニ依リマス、北海道ノ鐵道ニ對スル補助ノ取扱ハ、大體鐵道省ノ取扱ニ準ズベキモノデアルト云フ御意見ノヤウデアリマス、而シテ朝鮮、臺灣、或ハ樺太ノ如キ植民地トハ異ルト云フ御意見デハアリマスケレドモ、私ハ大體鐵道省ノ取扱ニ準ズベキノ取扱ニ是ハ準ズベキモノデアルト考ヘルノデアリマス、本法ノ法文ニ明デアアル如ク、北海道拓殖促進ノ爲ニ必要ナル鐵道、軌道ニ對シテ、是レノ補助ヲ爲スト云フ

コトガ明確ニサレテアルノデアリマシテ、北海道ノ開拓ノ狀況ハ長官能ク御承知デアリ、又長官ハ長ク朝鮮ニ居ラレタノデアッテ、朝鮮トノ比較ノ點ニ於テモ、明確ナル認識ヲ持タレテ居ルコト、思フノデアリマスガ、人口ノ點ニ於キマシテモ、密度ガ非常ノ差ガアルノデアリマス、臺灣ニ比レバヨリ一層ノ差ガアリ、内地府縣ニ比較スルナラバ、又ソコニ格段ノ差ガアルコトモ御諒解デアラウト思フノデアリマス、隨テ拓殖促進ノ爲ニ必要ナル鐵道トシテ、此法律ヲ制定サレタ趣旨ハ、確ニ鐵道ヲ獎勵スル意味ニ出發シテ居ルト考ヘル、ソレデアリマスカラ、アノ人口稀薄ナ、而シテ何ヲ爲シマシテモ採算ノ頗ル不利ナ此處ニ、所謂投資ヲ歡迎シナケレバナラヌノデアリマスカラ、隨テ餘程ソコニ保護獎勵ノ實ガ伴ハナケレバナラヌト思フノデアリマス、左様ナ點カラ見マシテ、從來ノ率ヲ御覽ニナリマシテモ分リマス通り、鐵道省ハ六分ノ補助ヲ與ヘテ居ル時ニ、八分ナリ九分ヲ與ヘルヤウナ、朝鮮、臺灣、或ハ樺太ト同様ナ補助率ヲ勅令ニ依ッテ定メラレタコトニ依リマシテモ、私ハ此趣旨ハ貫イテ居ルト思フノデアリマス、然ルニ今日長官ヨリ、鐵道省ノモノニ準ズベキモノダト云フ言葉

ヲ同フコトハ、甚ダ諒解ニ苦シム點デアリ、寧ロ奇異ノ感ヲ懷クノデアリマス、一體何が爲ニ北海道ノ鐵道ヲ、鐵道省ノ支配シテ居ル内地ノ私設鐵道ト同ジヤウニ取扱フ、即チソレニ準ズベキヤウニ取扱ハナケレバナラスト云フコトガ、何處カラ來テ居ルノデアリマス、私ハ其點ニ於テ是ハ率ヲ定メテ行キマス上ニ、根本的ニ關係ノアル點デアルト思ヒマス、茲ニ御所見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○池田政府委員

私ガ鐵道省ニ準ズルト云フコトヲ申上ゲタノハ、利率ガ此程度ニ違フト云フ意味ヲ準ズル、詰リ北海道ハ内地トハ開拓途上ニアルノデ餘程違フ、内地ノ鐵道ヨリモ相當多ク利率ヲ高メテヤラナケレバ、斯ウ云フヤウナ譯デアリマス、其點諒解ノナイヤウニ御願シタイト思フノデアリマス、サウシテ私ガ北海道ノ鐵道ニ對シテハ、鐵道省カラモ補助ヲシテ居ルシ、臺灣ナリ朝鮮ト云フ方面トハ、其處ニ趣ガ違フト云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス、利率ノ程度ノ點ニ付テハ、從來内地ト異ッタヤウナ程度ニ今後モヤッテ行クベキモノデアアル、詰リ北海道ノ方ハ、内地ヨリ二三分子ナリ或ハ四五分高クナッテ居ルカラ、サウ云フ風

ニシテ行クベキモノダト、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス

○手代木委員

只今長官ノ述ベラレタヤウナ意味ノ準ズルト云フコトナラバ、兎ニ角不徹底ナヤウナ所ハアルヤウデアリマス、レドモ、大體ソレデ諒承致スコトニシマシテ、此勅令ニ依ル率ハ、一體下ノ程度ヲ豫想シテ居ラレルノデアルカ、色々今後御決定ニナル迄ニハ、何等カノ調査ヲ必要トスルカモ知レマセヌガ、大體ノ御見込ハアラウト思フノデアリマス、其率ヲ定メラレル基本ニナルベキモノ、是ガ定マラナケレバ率ノ決定ハ當然困難ニナルト思フノデアリマス、ソレデ私共ノ考ヘル所ハ、其率ヲ定メルノニ何ニ依ルカ、先ヅ會社ノ事業經營ガ實際上ドレ程困難デアルカト云フヤウナコトヲ考慮スル必要ガアルト思フノデアリマス、其經營ガ如何ニ困難デアルカト云フコトヲ定メマスル基本ト致シマシテハ、冀ニ申上ゲマシタヤウナ人口ノ密度ノ問題、又北海道ハ所謂植民地ニ準ズル所デアリマス、金利ガ高イ、其金利ト云フコトモ之ヲ判斷スル一ツノ基本ニ致サナケレバナラスト思フノデアリマス、内地ヨリハ固ヨリ二分ナリ三分ナリノ高率ニアルヤウデアリマス、而シテ朝鮮や臺灣ニ比ベ

マス云フト、朝鮮、臺灣ヨリモ遙ニ北海道ノ金利ハ高イヤウデアリマス、此處ニ正確ナ資料ハ持ッテ居リマセヌケレドモ、確ニ朝鮮、臺灣ヨリモ、ヤハリ二三分子高率ニアルヤウデアリマス、而シテ事業ノ經營ニ危險ガ伴フノデアリマス、其危險率ト云フヤウナモノモ、此金利ノ中ニヤハリ包含サレナケレバナラストモノデアルト思フノデアリマス、サウ云フ點ヲ考慮シテ行カナケレバ、北海道ノ開發ヲ促進スル爲ニ、資本ヲ他ヨリ仰グト云フコトニハ不適當デアリマス、所謂他ヨリモ優レタ好イ條件ガナケレバ、開發促進ナドト云フコトハ出來ナイト云フコトハ、明瞭ナコトデアラウト思フノデアリマス、ソレデサウ云フ點ヲ考ヘテ、サウシテ茲ニ率ヲ先ヅ定メラレルコトヲ考フベキデアルト思ヒマス、尙ホ比較シテ見マス云フト、朝鮮、臺灣ヨリモ少ナカラザル不利益ナ點ガモウ一ツアルノデアリマス、其點ハ何カト云フト、補助ノ起算點ノ相違デアリマス、朝鮮、臺灣ノ私設鐵道デモ、補助ノ起算點ハ、會社ノ拂込資本ニ對シテ、其拂込ノアツタ日ヨリ、ソレカラ借入金ガアツタ場合ニハ、其借入ノ日ヨリ定メラレル率ヲ補助セラレルコトニナッテ居ルノデアリマス、然ルニ

北海道ハ建設費ニ對シ營業開始ノ日ヨリ實フコトニナルノデアリマシテ、此點ハ北海道ノ私設鐵道ガ少カラザル不利益ヲ蒙ッテ居ル點デアリマス、朝鮮、臺灣ハ株金ノ拂込ノ日、借入金ノ其日ヨリ定メラレル率ヲ實ヒ得ルノデアリマス、事業ニ著手シヨウガシマイガ、或ハ營業ノ開始云々ナドト云フコトハ、何等ハ條件トナッテ居ナイノデアリマス、然ルニ北海道ハ建設費ニ對シ、而モ營業開始ヲシナケレバ、其補助ノ恩典ニ浴スル譯ニ行カヌノデアリマス、若シ建設ノ爲ニ數年掛レバ

〔佐保委員長代理退席、委員長著席〕

數年間何等ノ補助ヲ貰ヘナイト云フコトニナル譯デアリマス、サウ云フ非常ニ不利益ナ點ガアルノデアリマス、是等ノ點ガ總テ今ノ此補助率ヲ定メル場合ニ考慮サルベキモノデアルト思フノデアリマス、斯ウ云フ點ニ付テ、果シテソレヲ御考慮ニナッテ御定メニナル御意思デアルカ、又其外ニ何等カ據ドコロガ有リニナルノデアアルカ、ソレヲ伺ヒタイノデアリマス

○池田政府委員

補助率ニ付テ段々御話ガアリマシタデスガ、大體ハ會社ノ營業ノ成績ニ依ッテ補助率ヲ決メテ居ルヤウナ次第

デアリマスルガ、最後ニ御話ニナリマシタ此營業開始ノ日カラ北海道ハヤッテ居ルノデアリマスルガ、朝鮮モ臺灣モ、去ル昭和八年ノ改正ニ依リマシテ、ヤハリ營業開始ノ日カラ補助ヲヤルト云フコトニナッテ居ルサウデアリマス

○手代木委員 只今御答辯ノアリマシタコトハ、私ノ質問シタ所ニ全部觸レテ居ル譯デハナイヤウデアリマスガ、補助率ヲ定メラレル據ドコロ、何ニ依ッテ其勅令ニ依ル率ヲ御定メニナルノデアルカ、先程ノ長官ノ御話ニ依ルト云フト、鐵道省ノ取扱ニ準ズルト云フヤウナ所カラ考ヘマスルト云フト、現在ノ定メラレテ居ル七分乃至九分ト云フモノヲ、尙ホ此上ニ減ゼラレルヤウニ思フノデアリマス、今回ノ鐵道補助法ノ改正ニ依ッテ、前ヨリモ率ガ下ルノデアリマスルカラ、サウスルト其下ル程度ニ準ジテ是モ下ゲルト云フヤウナ御意向デモアルノデアリマスルカ、若クハ前ニ既ニ一分減ヲ致シテ、現在ノ七分乃至九分ニナッテ居ルノデアリマスルカ、之ヲ維持サレヨウト云フ御積リナノデアリマスルカ、其邊ニ付テノ御意見ヲ伺ヒタイノデアリマス

○池田政府委員 前ノ一分減ハ、益金ハ八分ガ七分ニナルシ、ソレカラ損失ニ付テハ

二分ニナッテ九分ニナッテ居ルノデアリマスルガ、今度鐵道省ノ方デモ一分下ゲルト云フヤウナコトニナッテ居リマスルカ、先程申シマシタ通り、ヤハリ之ニ準ズルト云フコトガ適當デアラウカト考ヘマスノデ、尙ホ十分ニ考究致シマシテ、勅令改正ノ際ニ決メテ行キタイト、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○手代木委員 只今伺ヒマシタ率ノ點ハ、色々考究ヲシテ勅令ニ御定メニナルト云フコトデアリマスガ、強イテ茲ニ何分ト云フコトヲ御確メスルノ、或ハ必要モナイヤウニ考ヘマスガ、要ハ此率ノ問題ニ付テ、北海道ハ經營上頗ル不利益ナ鐵道デアアルカラ、此點ニ付テ補助ノ成ベク多クナルヤウニ、特ニ御考慮ヲ煩ハサナケレバナラヌト思ヒマスルノデ、今マデ色々點ヲ伺ッタ譯デアリマス、勅令ヲ定メル際ニ篤ト考慮スルト云フコトデアリマスルナラバ、ソレデ宜シイノデアリマスルガ、十分ニ是ハ御考慮ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、私繰返シテ申上ゲマスケレドモ、北海道ノ鐵道ハ、是ハ所謂獎勵ノ意味デ出來テ居ルノデアアルガ、朝鮮、臺灣ノヤウニ、ドノ會社ト致シマシテモ一ツモ缺損ヲシテ居ル會社ハアリマセヌ、全部幾許カノ配當ヲシテ、其上

ニ皆相當ナ補助ヲ貰ッテ、現在デモ六分五厘ナリ、六分ナリノ配當ヲ確實ニ致シテ居ルノデアリマス、而シテ北海道ハ、何レノ會社モ皆缺損シテ、サウシテ多クノ打撃ヲ會社ガ受ケテ、茲ニ補助ヲ受ケテ、辛ウジテ無配デアルトカ、或ハ二分、三分ノ配當ヲシテ居ル位ノ會社ガ多イノデアリマスルカ、北海道ノ拓殖上鐵道、軌道ノ必要デアルコトハ、十分御認識ニナッテ居ルト思フノデアリマスルカ、ドウゾ今御話ニナリマシタヤウニ、勅令ヲ定ムル際ニ篤ト考慮スルト云フコトハ、一片ノ御辭令ニ終ラナイヤウニ、篤ト其點ハ御考慮ヲ御願シタイト思フノデアリマス、次ニ重大ナル問題ハ、公式適用ノ問題デゴザイマスガ、是ハ前ノ同僚カラモ質疑サレタ點デアリマスガ、長官ノ御答辯ハ、是モ鐵道省ノ取扱ニ準ズルノデアアルカラ、適當デアラウト云フ御答辯ノヤウデアリマス、併ナガラ是ハ大分長イ間ノ問題デアリマシテ、議會ニ於テモ相當論議サレタ問題デアリマス、吾々ノ考ヘル所デハ、洵ニ是ハ不都合ナモノデアルト考ヘテ居ルノデアアル、前申上ゲタヤウニ、北海道ノ鐵道ハ大イニ助成ヲシ、其建設ヲ獎勵シナケレバナラナイト云フ立前デ、内地ノ鐵道ヨリモ、ヨリ多ク惠マレルヤウナ取扱ヲシナ

ケレバナラヌノニ、此公式ヲ當嵌メタガ爲ニ、營業者ハ少ナカラザル不利益ヲ受ケルニ至ッタノデアリマシテ、實際問題トシテハ、二分内外ノ減率ヲ受ケタコト、同様に結果ニナッテ居ルノデアリマス、ドウモ法令ノ根據ニ鑑ミマシテモ、鐵道省ノ方ノ補助ノ算出ノ基礎ト云フモノハ、チャント法令ニ明ニナッテ居ルノデアリマス、北海道ノ方ノ補助ノ仕方ニ付テノ公式モ、チャント明ニサレテ居ルノデアリマス、其明ニサレテ居ルモノヲ、何ガ故ニ同ジモノニシタノデアルカ、鐵道省ノ補助法令ニ依ルト、營業費ノ定メ方、是ガ補助ノ算定ヲスル中ニ基本ニナル條項デアリマスガ、此營業費ノ定メ方ト云フモノハ、鐵道省デ公式ガ定メテアル、ソレハ營業費決算額ヲ基礎トシテ政府ノ査定シタル額、公式ニ依リ算出シタル額、之ヲ二ツ加ヘテ二分シタモノガ營業費ト云フコトニナル、之ニ依ッテ補助ノ算定ガセラル、譯デアリマス、北海道ノ方ノ補助法デハ、營業費ノ定メ方ト云フモノハ單純ニ營業費決算額ヲ基礎トシ北海道長官ノ査定シタル額トスウアリマス、ソレデ公式適用ト云フコトハ一ツモナイノデアッデ、若シ鐵道省ノ取扱ト同ジデアアルナラバ、斯ウ云フモノヲ特別ニ設ケル必要ガナクテ、

茲ニ態、特ニ拔キ出シテ、營業費決算額ヲ基礎トシ北海道長官ノ査定シタル額、斯ウアルノデアリマスカラ、其公式ニ依ッタモノト合セテ二分スルヤウナ現在ノ定メ方ト云フモノハ、私ハ此法令ノ精神ニ低觸スルト考ヘマシテ、是ハ省令デ出テ居ルカラ、省令違反デアルト斷ジテ來テ居ッタノデアリマス、ソレデ既ニ省令モ改正サレタ以上ハ、今日ハ省令違反ト云フ問題ハナイコトニナッテ居リマスケレドモ、併ナガラ其根本精神ニ遡テ考ヘレバ甚ダ妥當デナイト考ヘル、公式適用ヲシテ北海道ノ私設鐵道ガ惠マレルナラバ結構デアリマス、所ガ之ニ依ッテ前申上ゲタ通り二分内外ノ減率ヲ見ルノデアリマスカラ、此點ハ實際問題トシテ其儘ニ看過スル譯ニハ行カスト私ハ思フ、而モ此北海道拓務鐵道補助法ノ中ニハ、本法ニ規定スルモノヲ除クノ外地方鐵道補助法施行規則ヲ準用スト書イテ居リマス、サウスルト本法ニ定メラレタル査定ノ仕方ハ、營業費決算額ヲ基礎トシ北海道長官ノ査定シタル額ト一本ニナッテシマフ、ソレヲ何ノ爲ニ一體鐵道省ノ公式ヲ其儘茲ニ當嵌メルカ、是ハ了解ガドウシテモ出來ナイノデアリマス、私ハ先程長官ガ尾崎君ニ答ヘラレタ御言葉ニ依ルト、之ニ依ッテ會社ノ營業ヲ

引締メタト云フコトデアリマスケレドモ、果シテサウデアアルカドウカハ多分ノ疑問ガアルノデアリマス、公式ヲ適用サレルト、内地ノ鐵道ハ却テ之ニ依ッテ恩典ヲ受ケテ居ルノデアリマス、二分シタガ爲ニ却テ營業費ガ増スコトニナッテ居リマス、是ハ年ニ依ッテ幾ラカ違フノデアリマスガ、大體ニ於テ公式ヲ當嵌メタ結果ハ、二分サレテ餘計ニナル、其率ハ少シハ變リマセウカラ、數字ハ申上ゲマセスケレドモ、二分シタ方ガ多クナッテ、公式ヲ當嵌メタ結果ガ多クナリ、營業費ハ餘計認メラレルト云フ譯ニナルノデアリマス、所ガ北海道ノヤツヲ公式ニ依ッテ計算シテ見ルト、營業費ハ著シク減ルノデアリマス、鐵道ニ於テハ、丁度實際使ッテ居ル營業費ノ六割五六分カラ七割程度、是デ見マスト平均シタ爲ニ營業費ハ非常ニ低クナッテ居ルノデアリマス、低イ營業費ヲ見ルガ爲ニ、隨テ補助ヲサレル場合ニ其影響ヲ受ケテ來ル、斯ウ云フコトニナルノデアリマス、北海道ノ鐵道ノ經營ニハ御承知ノ通り不利益ナ點ガアリマス、アノ通り雪ガ多イ、是ガ爲ニ色々ノ費用ガ増スノデアリマス、除雪トカ何トカ云フ以外ニ雪ノ害ヲ受ケ、修繕トカ、或ハ物ノ耐久力トカ、又ハ運轉休止ノ時ガアリ、荷物ノ蒐集

ノ點ナド、色々ノ不利益ガアルノデアリマス、サウ云フ所ニ對シテ内地ノ公式ヲ其儘當嵌メルト云フコトハ、ドウシテモ不合理デアルト思フ、若シ北海道ノ公式ヲ拵ヘルナラバ、北海道鐵道全部ノ平均ニ依ッテ拵ヘタ營業費ト云フモノヲ定メテ、之ヲ北海道ノ公式トシナケレバナラヌト思フノデアリマス、内地ハ内地ノ各鐵道ノ全部ノ平均ヲ見テ、是ダケノ營業費ト見テ居ルノデアリマス、公式ハ即チ平均サレタ營業費ナノデアリマス、ソレヲ内地ノヤツヲ其儘北海道ニ當嵌メルト云フコトハ、ソコニ不合理ガアル、若シ北海道ニ公式ヲ適用スルナラバ、北海道ダケノ公式ヲ拵ヘテ、北海道ニ二十七ノ私設ノ鐵道或ハ國ノ鐵道ガアル、サウ云フモノ、營業費ノ平均ヲ見テ、ソレヲ當嵌メテ、或ル一ツノ特定ノ會社ト平均サレタ營業費ト懸隔ガアレバ、コ、ニニツ合セテ二分スル、ソコニ公平ナルモノガ出來ルト云フコトニナルノデアリマスケレドモ、サウデハナイ、内地ノモノヲ拵テ來テ當嵌メテ二分スルト云フ所ニ、實際上非常ナ開キガ出來ル、之ヲ當嵌メラレテ補助ヲ受ケルカラ、即チソコニ二分内外ノ不利益ヲ蒙ルト云フコトニナルノデアリマス、此點ハ私共ノ主張カラ申スト、全然ハ撤回

シテ貰フ方ガ、一番妥當デアルト思フ、撤回ヲシテ從來定メラレタ通り、營業費決算額ヲ基礎トシ北海道長官ノ査定シタル額、會社ガ唯報告シタ營業費ヲ其儘認メロト云フノデアリマセヌ、北海道長官ノ權限ニ依ッテ、此營業費ガ不當デアルト認メレバ、ソレヲ適當ニ査定スレバ宜イノデアリマス、枕木ノ買入ガ高ケレバ枕木ノ値ヲ下ゲル、石炭ノ買上ガ不當ナラ之ヲ引去ル、重役報酬ガ多ケレバソレヲ削ル、但シ重役報酬ハ少シモ營業費ニ加ヘテ居リマセスケレドモ、假ニ加ヘタ會社ガアルナラバ、ソレヲ削レバ宜イ、斯ウ云フコトニナルノデアリマスカラ、結局ハ全然査定ヲ用ヒザル譯デハナイノデアリマス、査定ヲ用ヒルコトハ出來ルノデアリマスケレドモ、サウ云フコトハ、之ヲ定ムルコトニ依ッテト言フケレドモ、引締メテナサルト云フナラバ、其點デ引締メルコトガ出來ルノデアリマス、ドウシテサウ云フ不合理ナ、而モ法律ノ精神カラ言ヘバ、此通り既ニ區別ヲ設ケラレテ居ルモノヲ、長官ノ査定シタル額ト云フコトヲ、北海道長官ガ内地鐵道ノ公式ヲ拵テ來テ、長官ノ査定ハ斯ウ云フモノダト云フ風ニ今度定メラレタ、ソレデハ此法律ヲ二

ツニ書キ分ケテ何ノ爲ニ拵ヘタノデアルカ、ソレハ理解ノ出來ナイコトニナル、而モ本法ニ定ナキモノハ地方鐵道補助法施行規則ニ準ズル、斯ウ云フノデアリマスカラ、故ラニドウシテ斯ウ云フ公式ヲ設ケタカ、其意義ヲ不明ナラシムルコトニナルノデアリマス、斯ウ云フノデアリマスガ、長官ハ今直チニ此處デ決定的ノ御意見ヲ御述ニナルコトモ出來ヌカモ知レマセヌガ、私トシテハ是ハ撤回サレル方ガ宜シイ、今省デ定メラレタノヲ廢止サレルコトノ手續ヲ執ラレルコトガ至當デアルト思フノデアリマスガ、ソレニ對スル御意見ハ如何デスカ

○清瀬委員長 土木部長ガ説明員トシテ答辯致シマス

○中村北海道廳部長 只今手代木サンカラノ御意見デアリマスガ、北海道ノ鐵道、軌道ニ對スル補助算定ノ基礎デアリマス所ノ公式ハ、是ハ御承知ノ通りニ昨年カラ法定サレタノデアリマスケレドモ、事實ハ數年前カラ其通りヤッテ居ッタノデアリマス、サウシテ此公式ノ基礎ニナル基礎數字ハ、鐵道省ノ全國ニ於ケル公式ノ基礎ト、尙ホ北海道ニ於ケル從來ノ實蹟ヲ見マシテ、サウシテソレヲ併セマシテ、所謂北海道ノ公

式ニ採入レテアルノデアリマシテ、北海道ノ事情ハ此公式ニハ十分ニ含マレテ居ルノデアリマス、又先程御意見ニモアリマシタガ、北海道ノ鐵道營業費ハ、内地カラ見レバ非常ニ高ク掛ルデハナイカト云フ意見モアリマシタケレドモ、是モ北海道ノ氣候、地勢其他カラ申シマス、御意見ノ點モアリマスケレドモ、統計ヲ見マス、必シモ其通りバカリデモナイヤウデアリマス、之ニ付キマシテハ營業上ノ合理化其他ノ方法ニ依ッテ、十分ニ其趣旨ヲ徹底サシテ居リマスガ故ニ、現在ノ調ニ於テハ御意見ノ通りバカリデモナイヤウデアリマス、ソレカラ公式ヲ使フコトハ、常ニ會社ノ方ノ不利益ニナルデハナイカト云フ御意見デアリマスケレドモ、是モ公式營業費ノ方ガ却テ多クナリマシテ、サウシテ其爲ニ會社ノ方ニ補助歩合ヲ算定スル場合ニ於テ、有利ニナル場合モ多々アルノデアリマシテ、其點ノ御心配モナイヤウニ考ヘルノデアリマス、サウ云フ風ナ次第デアリマスガ故ニ、此公式營業費ト云フモノハ、ヤハリ決メラレタ通りニ執行シテ行カネバナラヌト存ジテ居リマスカラ、御承知ヲ願ヒタイト存ジマス

○手代木委員 今ノ御説明ニ依ルト、公式

ヲ適用シテ、中ニハ惠マレルモノガアルト云フ御話デアリマスガ、甚ダ私ハ疑問ニ思フノデアリマス、若シ審議ノ上ニ餘裕ノアル場合デアリマスナラバ、資料ヲ頂戴シテ色々ソレ等ノ判斷ヲ致シタイノデアリマスケレドモ、只今ハ要求ハ致シマセヌガ、ドウモ今土木部長ノ言ハレルヤウナコトハ、北海道ニ私ハナイト思フノデアリマス、公式ヲ當嵌メタ爲ニ何レモ多少ノ損失ヲ増シテ居ル、斯ウ思ハレルノデアリマシテ、ソレハ何レ後日ニ於テソレ等ノ點ヲ明ニシテ、是ノ解決ヲ圖リタイト思フノデアリマス、今土木部長ノ御話ノ中ニモ、既ニ數年前カラ適用シタダト云フ御話ガアルガ、ソレガ甚ダ不當ナコトデアルト思フ、今日省令ヲ改正シテ、之ヲ適用サレルノハ已ムヲ得ナイノデアリマスガ、其省令ヲ改正シナイ前ニ、既ニ適用シテ居ルノダト云フコトハ、ソレハ理由ニナラヌト思フノデアリマス、長官ノ査定シタル額ト云フコトガ其査定ノ内容ダ、其査定ノ一ツノ方法トシテ公式ヲ當嵌メタ、斯ウ云フキツト御趣意ダラウト思フ、ソレハ即チ根本ニ於テ不當デアル、斯ウ云フコトヲ先刻カラ私申上ゲテ居ルノデアリマス、是ハドウモ斯ウ云フ風ニ法律ガ既ニ書分ケテアルノヲ、ソ

レヲ長官ノ査定ノ方法トシテ、内地ノ公式ヲ其儘借りテ來ルノダト云フコトハ、ドウモサウ云フコトハ私ハ理解出來ナイ、北海道ダケデ何カ特ニ拵ヘラレタヤウナ御話モアルヤウデアリマス、其他北海道ノ事情ヲ酌入レテ居ルト云フ御話ダガ、内地ノ公式ヲ持ッテ來タ場合ニ、其北海道ノ事情ハ公式ノ中ニ酌入レラレテ居ル譯ハナイト思フ、内地ノ計算方法ヲ其儘北海道ヘ持ッテ來テ當嵌メタノデ、之ヲ酌入レテ居ルトハ思ハレマセヌガ、何レソレ等ノコトハ尙ホ外ノ場合ニ明ニ致シテ、何トカ其當當デナイ點ヲ改メタイト思フノデアリマス、尙ホ之ニ關聯シテ問題ノ起ッテ來マスコトハ、若シ之ヲ當嵌メタコトガ妥當デナイ、或ハ法令違反ト云フコトニナレバ、之ヲ少クトモ省令改正前ノ部分ニ付テノ始末ハ致サナケレバナラヌコトニナリマス、ソレ等ノコトハ今伺ッタ所ガ、決シテ要領ヲ得ル譯ハナイト思ヒマスカラ、ソレハ申上ゲマセヌガ、ソレモ併セテ當局トシテハ御考置キラ願ハナケレバナラヌコトニナルト思ヒマス、公式ヲドウ考ヘマシテモ私ハ不當デアルト思フノデアリマスカラ、若シ愈ドウスシテモ公式ヲ當嵌メテオヤリニナラナケレバナラヌト云フナラバ、特ニ北海道ダケノ

公式ヲ御作リニナッテ、ソレニ依ッテ營業費
ノ中ニ不權衡ノアルモノヲ、平ラカニスル
ヤウナ方法ヲ講ゼラレルコトガ宜シイと思
フケレドモ、内地ノ公式ヲ其儘適用スルコ
トダケハ、十分ニ御考慮ヲ願ヒタイと思
フ、惡ケレバ直チニ之ヲ改メルコトガ至當
ダと思フノデアリマスカラ、先程尾崎君モ
言ハレタヤウニ、特別ナ所謂更始一新ト云
フヤウナ時ニ、惡イコトハ直チニ改メラレ
ル方ガ宜シイ、實際ニ於テ惠マウト思ッテ
ヤッテ居ルコトガ惠マナイ、内地ノ方ハ惠
マウトシテ惠マレタモノヲ全部與ヘテ、北
海道ハ公式ヲ適用シテ少シデモ餘計ナモノ
ハ削ッテシマフ、餘計ニナレバ惠マナイデ、
餘計ナ部分ダケ取去ッテ居ルノデアリマス、
ソレガ實際デアリマス、其儘充ガッテ居ル
ノデハナイ、内地ハ二分シタノガ實際ノ營
業費ヨリモ多イ時ハ、其儘補助ヲ與レテヤ
ル、所ガ北海道ノ分ハ多クナッタノハ削ッテ
取ッテシマッテ、サウシテソレ以上ノモノヲ
與ヘナイヤウニヤッテ居ル、斯ウ云フコト
ハ何モ惠ンデハ居ラナイ、惠マレベキモノ
ヲ削リ取ッテシマフノデアリマスカラ、ソ
レハ實際問題トシテ能ク御考ヲ願ヒタイ、
内務次官ハ土木部長トシテ、北海道デ此間
題ニ能ク實際ニ携ハラレタノデアッテ、大

體御諒解モアラウト思フ、長官ハ或ハ此點
ニ付テ十分ニマダ御理解ガナイカモ知レ
ナイと思ヒマス、土木部長モ同様、此點ニ
付テハマダ私ハ十分ナ御理解ガナイダラウ
ト實ハ考ヘルノデアリマス、十分ナ御理解
ノナイ方ヲ相手ニシテ餘リ論議ヲ致シマシ
テモ、其結果ハ知ルベキノミデアリマスカ
ラ、甚ダ失禮デスガソレハ申上ゲマセヌ
ガ、十分ニ是ハ能ク御研究ヲ願ヒタイ、長
官ニシテモ北海道ノ開拓ヲ大ニ促進スル
コトヲ念トシテ居ラレルノデアリマスカ
ラ、是ハ促進ノ上ニハ私設鐵道ガ非常ナ是
ハ關係ヲ持ッテ居ルコトハ言フ迄モナイノ
デアリマシテ、ドウゾ是ハ是非此上トモ御
研究ヲ願ヒタイと思フノデアリマス、其外
ニモアリマスガ、餘リ長クナリマスシ、何
レ又林君カラモ色々御質疑ガアルと思ヒ
マスカラ、私ハ此程度デ質疑ヲ打切りマ
ス

○清瀬委員長 林君

○林委員 努メテ簡單ニ御伺致シマス、先
ヅ此改正法ノ法文ノ運用ニ付テ伺ヒタイ
思ヒマスガ、今回ノ改正ニ依ッテ追加セラ
レマス、即チ「政府ハ必要アリト認ムル時
ハ更ニ五年ヲ限り前項ノ期間ヲ伸長スルコ
トヲ得」此追加サレタ法文ノ運用ニ付テ

ハ、從來モ例ガアルコトデアリマスカラ、
格別御伺ヒスル迄モナイト存ジマスガ、併
ナガラ要スルニ政府ニ於テ必要アリト認ム
ルカ否カト云フコトハ、一ニ北海道廳當局
ノ認定ノ如何ニ依ルコトデアル、又五年ト
云フ期間ヲ限ッテモ、是ハ五年ト云フノハ
最大限度デアルカラ、二年ヤッテモ三年ヤッ
テモ宜イダト云フ解釋ノ問題モ起ル譯デ
アリマスカラ、即チ政府ガ必要アリト認ム
ルトキハト云フ此法文ノ運用ニ當ッテハ、
從來十五年ノ期間トシテ、補助セラレテ居
リマス鐵道及ビ軌道ハ、悉ク此追加法文ニ
依ッテ、更ニ五年間補助期間ヲ延長セラレ
ル譯デアルカドウカ、從來補助セラレテ
居ッタノデアッテモ、其中ニハ此條文ニ依ッ
テ五年ノ延長ヲセザルモノモアルト云フノ
デアアルカドウカ、但シ會社ノ成績ガ良クシ
テ補助金ヲ與ヘナクテモ宜イモノハ是ハ別
デアリマス、即チ最高ノ補助額ト同額マデ
ノ收益ヲ舉ゲテ居ルモノナラバ別デアリマ
スルガ、然ラザルモノデ從來補助シテアル
モノハ、悉ク此改正ニ依ッテ五年ヲ延長ス
ルノダト云フ考デアアルカドウカ、之ヲ伺ヒ
タイと思ヒマス

○池田政府委員 此必要ト云フノハ、御承
知ノ通り北海道ノ鐵道、軌道モ、一頃大變
成績ガ惡カッタノデスガ、最近ハ貨物ガ多
ク出ル爲ニ、段々成績モ良クナッテ來タ鐵
道、軌道ガアルノデアリマス、ソレデ獨立
自營ノ出來ル鐵道、軌道ニ對シテハ、此上
ニ補助ノ必要ハナカラウ、是ハ當然ダと思
フノデアリマス、今度延長シタノハ、又此
業者ノ方カラ要求ノアツタノハ、獨立自營
ガ出來ナイカラ延長シテ貰ヒタイ、斯ウ云
フヤウナ意味デアリマスカラ、此獨立自營
ノ出來ル營業ノ成績ノ良イモノニ對シテ
ハ、必シモ續ケテ行ク必要ハナイ、斯様ニ
考ヘテ居ル次第デアリマス、ソレデ自然今
後ハ補助ヲ續ケテ出セルモノト、ソレカラ
補助ノナイ鐵道、軌道ガアルト云フコトニ
ナル譯デアリマス

○林委員 北海道デ現在現行法ニ依ッテ補
助ヲ致シテ居リマスモノハ、何レモ悉ク獨
立自營ノ出來ルモノハナイと思フノデアリ
マス、此中ニ獨立自營ガ出來ルモノガアル
ト云フコトデアアルナラバ、ドノ鐵道ガソレ
デアアルカ、大體御見込ガアルデアリマセウ
カラ御示ヲ願ヒタイと思ヒマス、今回鐵道
省ガ地方鐵道補助法ヲ改正致シマシテ、既
ニ補助期間ガ十年ヲ滿了シテ居ルモノニ對
シテモ、昭和十七年四月一日マデ補助ヲ延
長スルコトニ改正スルノ案ガ出テ居リマ

カドウカ、其點ヲ更ニ重ネテ伺ッテ置キマス、ソレカラ河西、十勝ノ兩鐵道ニ對シテ是ハ地方鐵道補助法ニ依ル補助金ヲ受ケテ居ルト云フ御答辯デアリマシタガ、是ハ何年度カラ出テ居リマスカ、之ヲ御伺シマスル所以ハ、長イ間兩鐵道ニ對シテハ、北海道拓殖費ノミカラ補助ヲサレテ居ッタ所ガ營業ノ實質狀態ハ、地方鐵道補助法ニ依ッテ補助ヲ受ケ得ル資格ノアル鐵道ニナッテ居ッタニ拘ラズ、長イ間北海道廳ハ北海道拓殖費ノミデ補助ヲサレテ居ッタ、其爲ニ私ハ聽クノデアリマスガ、何時カラ補助ヲ受ケルヤウニナッタノデアルカ、ソレヲ伺ヒタイ

○中村北海道廳部長 御答シマス、將來ノ年限延長ニ關スル補助歩合ノ限度ハ此際マダ研究中ニ屬シマスルガ故ニ申上ゲ惡イノデアリマス、ソレカラ尙ホ河西及ビ十勝ノ兩鐵道ニ付キマシテハ、先程私ハ鐵道省カラ補助ハナイト云フコトヲ申上ゲタノデアリマス

○林委員 此兩鐵道ニ對シテハ地方鐵道補助法ニ依ッテ補助ヲ與ヘテモ宜イト云フコトヲ、鐵道當局ハ先年ノ地方鐵道補助法改正ノ際ノ法案ノ委員會ニ於テ言明サレテ居ル、デアルカラ北海道廳當局ハ、兩會社ヲシテ鐵道省ノ補助ヲ受ケシムルヤウニ盡力ヲ

セラルベキコトヲ、私ハ御警告申上ゲテ置イタ、其理由ハ、此兩鐵道ガ地方鐵道補助法ニ依ッテ補助ヲ受ケラレルナラバ、其額ハ恐ラク二十萬圓乃至三十萬圓デアラウト思フ、之ヲ北海道廳ハ其途ガアルニ拘ラズ、拓殖費ノミカラ全額ノ補助ヲシテ居ラレル、洵ニ北海道拓殖費ノ負擔ハ理由ナキ負擔ヲシテ居ル譯デアリマス、サウシテ一方ニハ當然補助金ハ與ヘナケレバナラス鐵道ガアルニ拘ラズ、ソレハ豫算ガナイカラト稱シテ補助金ヲ與ヘラレテ居ラナイ、斯ウ云フコトハ唯兩會社ニ任シテ置イタノデハヤレマセヌ、ソレハナゼカト云フト、鐵道省ト拓殖費ト二本立デ補助ヲ受ケルヨリモ、北海道拓殖費ノミカラ補助ヲ受ケルコト

ガ、彼等ハ簡單デ樂デアリマス、ダカラ兩會社ノミニ任シテ置イテハ出來ナイ、北海道廳當局ハ北海道拓殖費ノ故ナキ負擔ヲ減額スル意味ニ於テ、道廳ガ先ヅ進ンデソレヲ斡旋セラレナケレバナラス、鐵道當局ハ補助スルト云フコトヲ言明致シテ居ラレルノデアリマスガ、此事ガ今尙ホ解決シテ居ラヌト云フコトハ甚ダ遺憾ニ思ヒマス、是ハ速ニ御解決ヲ願ヒタイ、サウシテ一方ニハ當然補助シナケレバナラナイニ拘ラズ、補助サレナイデ居ル鐵道ヲ、一日モ速ニ御

救済ヲ願ヒタイ、最後ニ一點質問致シマスガ、先刻來ノ他ノ諸君ノ質問ニ對スル當局ノ御答辯ヲ伺ヒマス、公式適用ニ對スル當局ノ態度ト云フモノハ、尙ホ私ハ諒解スルコトガ出來ヌノデアリマス、是ハ私ハ斯様ニ質問ヲシテ見タイノデアリマス、昨年内務省令ヲ改正シテ、北海道ノ補助ヲシテ居リマス地方鐵道及ビ軌道ニ對スル營業費ノ査定方法竝ニ地方鐵道補助法ニ依ッテ鐵道省ガ査定ヲシテ居ラレマスルと同様ナ方法、即チ公式計算ニ關スル規定ヲ省令ニ加ヘラレタ其結果ト致シマシテ、北海道ノ製方鐵道及ビ軌道ニ對スル拓殖費ノ補助ニ於キマシテモ、營業費ノ査定ハ鐵道省ノソレト同一ニナッタノデアリマス、斯様ニ内務省令ヲ改正シナケレバ、此公式適用ト云フコトハ法律上行ヒ得ナイト思ヒマスガ、内務省令ヲ改正シタト云フコトハ、此改正ニ依ラザレバ鐵道省ノ公式適用ガ出來ナイノデアルカ、此點ヲ先ヅ伺ッテ置キタイ

○中村北海道廳部長 十勝及ビ河西兩鐵道ノ鐵道省ノ補助ニ關シマス點ハ御意見ノ通りデアリマシテ、之ニ付キマシテハ、既ニ兩鐵道會社カラモ鐵道省ノ方ニ正式ノ申請書ヲ出サセテ居ルノデアリマス、隨テ道廳ト致シマシテモ、是ガ實現ニ付キマシテ

ハ、御意見ノ通りニ努メテ見タイト考ヘテ居リマス、ソレカラ公式營業費ノ關係デアリマスガ、是ハ内務省令ニ依ッテ、昨年公式營業費ナルモノヲ、鐵道省ト同一ノ算定方法ニ依ッテ法定サレタノデアリマシテ、之ニ對シマシテハ先程モ申上ゲマシタヤウニ、從來ハ北海道廳長官ノ査定權ニ依ッテ、此モノト同ジ査定ヲ加ヘテ居ッタノデアリマス、故ニ御質問ノヤウニ所謂公式ト云フモノヲ法定シタノハ昨年ノ省令デアッテ、從來ハ其精神ニ依ッテ北海道長官ガ營業査定ヲ致シテ居ルト御諒承ヲ願ヒタイト存ジマス

○林委員 ドウモ法律解釋デ小サクナッテ參リマスガ、重ネテ御伺シタイ、當局ハ内務省令ノ改正ヲ爲スコトナクシテ、其以前カラ鐵道省ノ公式適用ヲ實際ニヤッテ居ラレタガ、ソレガ違法デハナイカト云フコトガ屢々議會デ問題ニナッテ居ッタ、所ガ今ノ土木部長ノ御答辯ノヤウニ、北海道廳長官ノ査定シタル額ト云フモノハ、從來ノ規定ニモアルカラ、其査定權ノ範圍ニ於テ鐵道省ノ公式ヲ適用シタノダ、斯ウ云フ話デアッタ、所ガ鐵道省ノ公式ト云フモノハ是ハヤハリ査定ノ方法ナンデアル、サウシテ明ニ地方鐵道補助法ノ施行規則ニハ、其公

式ノ方法ガ規定サレテアル、所ガ北海道廳ノ拓殖費ノ補助ノ方ニ於キマシテハ、内務省令ニ於キマシテ、其公式ニ關スル鐵道省ノ規定以外ノ事柄ハ、鐵道省ノモノヲ適用スル、準用スルトナッテ居ル、是ハ明ニ法文ニハサウアリマセヌガ、公式ヲ規定サレテアル第何條カノ、其條文ノ以外ノ事柄ニ付テハ、鐵道省ノ規定ヲ準用スルトナッテ居ルノダカラ、隨テ準用セラレザル規定、即チ鐵道省ノ公式適用ノ規定ト云フモノガ、是ガ北海道長官ノ査定權ノ範圍ニ於テ勝手ニ適用ガ出來ルノダト云フコトハ、如何ニモ無暴ナ解釋ナノデアッテ、私共ハ屢之ヲ警告シテアル、事柄ノ是非ハ別ニ致シマシテ、其不當ナコトガ分ツタカラシテ、ソコデ内務省令ヲ昨年改正セラレタノデハナイカト私ハ申上グル、内務省令ヲ改正セラレテ以後ノコトハ、是ハ私ハ合法的ダト、斯ウ思フノデアリマス、前ノ御解釋デアルナラバ、改正セナイデモ宜カッタデハナイカ、即チ長官ノ査定權ノ範圍ニ於テ、鐵道省ノ公式ハ勝手ニ適用スルトナッテ云フコトノアナタ方ノ法理解釋デアルナラバ、何モ昨年内務省令ヲ改正セラレル必要ハナカッタデハナイカト思フノデアリマスガ、此點ヲ更ニ……

○中村北海道廳部長 先程申上ゲマシタヤウニ、北海道廳長官ノ査定ハ、從來モ通牒等ニ依ッテ合理的ニ一ツノ式ヲ定メテヤッテ居ッタノデアリマシタガ、是ハ鐵道省ノ所謂公式營業費ト、北海道ノ公式營業費ヲ考ヘマシテ、鐵道省ノソレヲ適用シテモ宜シイト云フノデ、從來カラ適用シテ居ッタノデアリマシテ、別ニ是ハ法規ニハ基イテ居ナカッタコトモアリマスケレドモ、之ヲ以テ省令或ハ地方鐵道施行規則ノ違反ト云フコトニハ私共ハ考ヘテ居ナカッタノデアリマス、又サウ云フ解釋モ起リ得ナイデハナイカト、斯ウ思フノデアリマス、唯其數年間ノ實蹟ニ見マシテ、サウシテ茲ニ昨年明瞭ニ内務省令ニ公式營業費ノ適用ヲ謳ッタノデアリマシテ、前後ノ矛盾モナカラウト考ヘテ居ルノデアリマス

○林委員 只今ノ御答辯デハ何トシテモ諒解出來ナイノデアリマス、此事ハ從來此實際ノ實務ニ御關係ニナッタ方デハ、正シク冷靜ニ御判斷ガ出來ナイ、コダハリガアルト思フ、私ハ是ハ内務次官ナリ、新任セラレタ北海道長官ガ、此關係ヲ一ツ御覽ニナッテ御調べニナッテ正シイコトヲヤッタノカ、無理ナコトヲヤッタノカト云フコトヲ、是ハ一通リノ法理解釋ヲシ得ル頭ノアル人

ナラバ、何人デモ分ルコトデ、況ンヤアナタ方ノヤウニ、其方面ニ洗練サレタ方ナラ、此關係ヲ法文ト照合セテ御覽ニナレバ直チニ分ルト思ヒマスカラ、此解釋ダケハ明瞭ニシテ置イテ戴キタイ、何トシテモ昨年ニ至ッテ、暫ク法ヲ越エテ行ハレテ居ッタ事柄ヲ、昨年法ヲ改正シテ合法的ニセラレタト云フコトハ、其以前ノ非ヲ悟ラレタカラデアルト吾々ハ考ヘテ居ル、然ラバ間違ッタコトハ間違ッタコト、シテ、ソレヲ明ニセラレテ、其間違ッタヤリ方ヲシテ會社ヲ不當ニ苦シメタ、ソレヲドウ云フ風ニ救済スルカト云フコトヲ御考慮願ヒタイノデアリマス、ソレカラ私ハ公式ニ付テ最後ニ申上ゲテ置クノデアリマスガ、今申上ゲタヤウニ、土木部長ハ何ト御答辯ニナリマシテモ、内務次官ナリ北海道長官ガ、速ニ御調べ下サレバ御分リニナル事柄ナンドアリマシマスガ、斯様ナ事柄デモ強イテ所謂私カラ言ヘバ、強辯シテ是ガ合法的ナリト言ッテ無理ヲ行ハレタ、昭和七八年頃カラ無理ヲヤラレタ、サウ云フコトガ行ハレル位デアリマスカラ、私ハ冒頭ニ御伺シタ法文ニハ「政府ハ必要アリト認ムルトキハ更ニ五年ヲ限リ前項ノ期間ヲ伸長スルコトヲ得」是ハ改正法ノ聲明デアアル、此肝要ナ點ヲ、甚ダ失

禮デアルケレドモ、今日ノ所謂惡口カラ言ヘバ、所謂官僚獨善式ニ、アノ鐵道ハ利益ノ有無ニ拘ラズ、政府ニ於テハ五箇年延長スル必要ガナイト御認めニナレバソレギリデアル、何トモ救済ノ方法ハナイ、ソレカラ五年ト規定シテアルガ、一年ヤラウガ、三年ヤラウガ、五年ヤラウガ、是ハ時ノ當局者ノ認定デドウニデモナルト云フコトデハ、臆テ此間問題ガ起ッタヤウナ左様ナ無理ガ——此法案ノ生命ニ對シテ左様ナ無理ヲ加ヘラレルコトニナルカラ、是ニハ明カニ其勅令ニ基準ヲ設ケテ、是以上ノ利益ヲ舉ゲテ居ルモノニハ補助シナイ、五年延長ノ規定ヲ適用シナイ、何トカ是ハ明ニセラレテ置クコトガ必要デアアル、時ノ當局者ニ依ッテ色々無理ナコトガ行ハレ易イ、サウ云フコトノ情弊ガ近來可ナリ多イノデアリマスカラ、特ニ此點ヲ御考慮願ヒタイ、ソレカラ又公式適用ノ本質上ノ問題デアアルガ、是ハ手代木君カラモ縷々申サレタヤウニ、此公式ハ北海道ニアノ儘持ッテ行クト云フコトハ、是ハ無理デアアル、鐵道省ガ現ニ北海道ノ鐵道ニ對シテモ適用シテ居ルデハナイカト言ハレマシテモ、是ハ其公式ヲ適用シテ居ッテモ、其上ニ北海道拓殖費ニ依ル補助ガアリマシテ、此方ニ公式ノ適用ヲ

シテ居ラス爲ニ、結局公式適用ナキモノト同一ノ結果デアッタ、所ガ明ニ北海道ノ方ニモ此公式ヲ適用スルト云フコトニナリマシテ、其結果カラ致シマス、九州ノ鐵道ト北海道ノ鐵道、例ヘバ暖イ方ノ鐵道ト寒イ北海道ノ鐵道ヲ比較スルト、此公式ノ適用ト云フコトガ、非常ナ打撃ニナッテ來タ、北海道ハソコデ此公式ノ適用ト云フコトガ無理デアルコトハ、鐵道當局モ認メラレテ居ル、鐵道省ハ今日北海道ノ鐵道ニ對シテモ、此公式ヲ適用シテ居ラレルガ、北海道ノ如キ特ニ營業費ノ多ク掛ル所ニ於テハ、別ナ公式ヲ考ヘナケレバナラスト云フコトヲ考ヘラレテ居ルノデアリマス、過日此地方鐵道ノ補助法ノ委員會ニ於ケル私ノ質問ニ對シテ、鐵道省ノ監督局長ハ、一本ノ公式デハ無理デアルト云フコトヲ認メラレテ居ル、隨テ北海道廳ノ當局モ、北海道ハ北海道ノ實情ニ適應スル所ノ公式ヲ研究セラレテ、サウシテ營業費ノ算定ニ於テ不公正ノ起ラヌヤウニ正シイ査定ヲ加ヘテ行ク、其爲ニ北海道特有ノ公式ヲ適用スル、是ハ鐵道省ト御協力ニナレバ、出來ルノデアル、鐵道省自體ガ、モウ一本ノ公式ヲ以テ全國ノ地方鐵道ニ之ヲ適用スルコトノ無理ナコトヲ認メラレテ居ル、ソレデ其改善

モ廳テハ行ハレルデアリマセウカラ、北海道ハ特ニ今回ノ改正ヲ機トシテ、其點ヲ御考慮相成リマスルヤウ希望致シマス、私ノ質問ハ是デ終リマス

○清瀨委員長 委員外デアリマスガ、先例ニ依リマシテ南條君ニ此際質問ヲ御許致シマス、極ク簡單ニ願ヒマス

○南條德男君 私ハ本法ノ提案セラレマシタコトニ付キマシテ、非常ニ贊意ヲ表スル者デアリマス、同時ニ北海道民ガ此數年來、殊ニ拓殖調査會ニ於キマシテ非常ニ熱望致シテ居リマシタ私設鐵道ノ五箇年延長案ガ、今日此國事多端ノ折ニ提案サレマシタ所ノ當局ノ御努力ニ付キマシテハ、全ク全幅ノ敬意ヲ表スルノデアリマス、隨テ本案ノ一刻モ早ク通過致シマスルコトヲ念願致ス者デアリマスルガ、將來ノコトデモアリマスノデ、此際一二簡單ニ御質疑ヲ申上ゲテ見タイト思フノデアリマス、ソレハ一

括シテ御質疑ヲ申上ゲマスカラ、ドウゾ其積リデ御答辯ヲ願ヒタイノデアリマスルガ、今迄ノ拓殖費ガ不足ノ爲ニ、當然地方費トシテ補助シナケレバナライ義務ノアルニモ拘ラズ、支拂ノ出來ナカタ金額、所謂道廳カラ言ヒマス債務デスガ、補助金額ノ滯納額ガドノ位アルノカ、

又鐵道省ノ補助ガアルニ拘ラズ、地方費トシテ補助シナケレバナライノニ、拓殖費ノ不足ノ爲ニ、其補助ノ指令ヲ出シテ居ライ私設鐵道ガ道内ニアリマスナラバ、其鐵道會社ハドウ云フ會社デアルカ、若シサウ云フ會社ガアルトスルナラバ、將來ソレ等ノ指令ノ出シテナイ私設鐵道ニ對シテハ、當局ハドウ云フ御方針ヲ持ッテ向ハレルノデアルカ、是等ノ點ヲ伺テ、又モウ一點伺ヒタイト思ヒマス

○中村北海道廳部長 第一ニ御尋ニナリマシタ未拂ノ補助金額ハ、今日迄九十六萬圓デアリマス、是ハ今後豫算ノ按排ヲ致シマシテ、サウシテ逐次道廳ノ義務ヲ完了シテ行キタイト考ヘテ居リマス、ソレカラ第二ニ御尋ニナリマシタ鐵道省ノ方ノ補助ガアッデ、拓殖費ノ方ノ補助ガナイ該當會社ハ三箇アリマス、名前ハ北見鐵道其他デアリマス

○南條德男君 ソレニ對シテ御方針ハドウデスカ

○中村北海道廳部長 ソレニ付キマシテハ、鐵道省ノ方ノ補助ガアルノハ、必ズ拓殖費ノ補助ヲ與ヘネバナラヌ譯デモナイノデアリマシテ、別途ニ考ヘマシテ、サウシテ營業成績ニ依ッテ考慮シタイト考ヘ

テ居リマス

○南條德男君 只今ノ御答辯ニ依ッテ、地方費ヲ以テ補助シナケレバナライ鐵道ガ、北見鐵道外二件アルサウデアリマスカ、私共ハ北海道ノ開發ノ上ニ於テ、此道内ノ私設鐵道ガ今日迄非常ナル貢獻ヲシ、又北海道ノ如キ未開地ノ廣イ所ニ於キマシテハ、開拓途上ニ於テドウシテモ斯様な鐵道ニ依ラナケレバナラスト云フコトニ付テハ、當局モ御認メニナッテ居ルコトデアラウト思フノデアリマス、サウ致シマスレバ、此地方費ノ補助ト云フコトハ、結局拓殖費ノ財源ト云フコトモアリマスケレドモ、從來迄ノ九十六萬圓ノ滯納金ハ、左様な結果カラ生ジタモノト思ヒマスガ、其精神ハ、總テノ道内ニ於ケル是等ノ貢獻シテ居ル私設鐵道ニ對シテハ、一視同仁ノ眼ヲ以テ當局ハ補助スベキモノデハナイカ、成程補助法ニ依リマスルト、補助スルコトヲ得ト云フコトニ相成ッテ居リマスケレドモ、實際ノ其精神ハ、鐵道省ニ於テ補助シテ居ル會社等ニ付テハ、地方費ハ道廳拓殖費ニ於テ當然是ガ補助スベシト云フ立前デスルノガ、私ハ精神デハナイカト考ヘマスガ、ソレニモ拘ラズ補助ノ指令モ出サナイデ居ッテ、數年間之ヲ放任致シテ置ク、財源ガ

ナイト云フコトデ放任シテ置クト云フコトハ、財源ガナケレバ財源ガ出来タ時ニ與ヘルト云フコトデモ宜カラウト思フ、現ニ財源ノナイ爲ニ、今日迄指令ヲ與ヘテ居ル會社デモ九十六萬圓ノ滞納ガアルサウデアリマス、其財源ガアツタ時ニ拂ヘバ宜イノデアデ、少クトモ其精神ハ、道内ノ全部ノ私設鐵道ニ對シテハ、一視同仁ニ補助ラスルノダト云フ御精神ヲ現スノガ、當然デハナイカト思ヒマスガ、此點ニ付テノ御考ハドウデアリマスカ

○池田政府委員 日本中ノ未拂ノ會社ニ對シテハ、成ベク將來財政ノ都合ヲ見テ補助シタイ、斯ウ云フ意味デ考慮致シテ居リマス

○南條德男君 左様ナ御精神デアアルナラバ、是非一ツ囊ニ申上ゲル通り、今迄モ屢々嘆願ヲ致シテ居ルサウデアリマスガ、現實ニ御支拂ニナルナラヌハ別トシテ、指令ダケヲ與ヘテ、サウシテ其私設會社ニ對シテ期待ナリ希望ナリヲ持タシテヤルト云フコトガ、其會社ノ成績ヲ上ゲ、將來ノ方針ヲ樹テル所以ダラウト思フ、ソレガ北海道ノ開發途上ニ於テ最モ大切ナコトデハナイカト思フ、申ス迄モナク是等ノ私設鐵道ト云フモノハ、社債或ハ未拂込等ニ於テ相當難儀ヲ致シテ居ル會社ガ多イノデアリマス、ソレ

ガ爲ニ今日迄數年間非常ニ熾烈ナル運動ヲ致シ、本法ノ如キモ政府ハソレヲ御認メニナツテ、今般御提案ニナツタモノト思フノデアリマスガ、金融其他ニ於テ指令ガアルトナイトデハ、會社ノ成績ニ非常ニ差違ガアルノデアリマス、是等ハ道廳ガ拓殖費ガ今日不足デアルト云フナラバ、支拂延期ハ過去ニ於テモ九十六萬圓滞納シテ居ルノデアリマス、何モ現實與ヘナクテモ、指令ダケハ與ヘテ、將來貫ヘルノダト云フ希望ヲ與ヘルト云フコトガ、寧ロ會社ノ内容ヲ改善サセ、道ヲ開發スル上ニ於テ必要デハナイカト考ヘテ居リマスガ、此點ニ對スル御所見ガアリマシタナラバ、何トカ率直ニ御答ヲ願フデ、共ニ俱ニ道ノ開發ニ盡シタイと思フノデアリマス

○中村北海道廳部長

御意見ハ洵ニ御尤デアリマスガ、唯御承知ノヤウニ、北海道ノ鐵道、軌道全線ハ二十七社ニモ上ボリマスシ、營業哩モ非常ニ延長ガ大キイノデアリマス、而シテ一方豫算ノ方ハ、拓殖費ノ關係上或ル程度ノ限度ガアリマシテ、豫算ノ拘束ヲ受ケマスガ故ニ、此補助ノ指令モ自由ニハ出来ナイノデアリマス、唯御意見ノ御趣旨ハ當局トシマシテモ十分ニ考ヘテ居リマスケレドモ、豫算ト會社ノ營業狀態、

地方ニ於ケル其會社ノ立場、或ハ培養施設、其他各般ノ狀況ヲ考ヘマシテ、從來補助ノ指令ヲ發シテ居リマスカラ、今後豫算ノ出来マス限り御趣旨ニハ副ヒタイト考ヘテ居リマス

○南條德男君

只今ノ御答辯デ御考慮フコトニ思ヒマスガ、附加ヘテ先程林委員ノ御質問ニ對スル御答辯ノ中ニモ、十勝鐵道ヤ河西鐵道ノ如キハ、本省カラモ補助ヲ受クベキモノヲ、拓殖費一本デ補助シテ居ルト云フヤウナ、斯様ナ不合理サヘアルノデアリマス、拓殖費ノ不足ト云フコトノ爲ニ、道ノ當然シナケレバナラヌ會社ニ補助ガ出来ナイナラバ、斯様ナ十勝鐵道、河西鐵道ノ如キ、本省カラ補助ヲ貫ヘルナラバ、拓殖費ハソレダケ餘裕ヲ生ム譯デアリマス、左様ナ點ヲ考ヘマスト、多少矛盾ガアルヤウニ考ヘマスカラ、將來當局ニ於テ十分ナル御考慮ヲ拂ッテ、サウシテ道内ニ於ケル他ノ私設鐵道ニ對シテモ、一視同仁ナル御取扱ヲ願ヒタイト云フコトヲ附言シテ置クノデアリマス、モウ一點ハ、他ノ委員諸君ヨリ段々御論議ガアリマシタ公式適用ノ問題デアリマスガ、北海道ノ私設鐵道發展等ニ付キマシテハ、公式ヲ適用スルシナイト云フコトガ、今日非常ナル重大問題デアル

ヤウデアリマス、私ハ内容ハ詳シク申上ゲマセヌガ、他ノ委員諸君カラモ申上ゲタ通り、此公式適用ト云フコトハ過去、昭和八年以來、先程當局ノ御説明モ段々トドウモ腑ニ落ちナイ點ガアルノデアリマスガ、是等ハ今日私追求致シマセヌガ、兎モ角モ法律或ハ命令ニ依ラズシテ、道廳當局ノ勝手ナル御解釋ニ依ッテ、昭和八年以來公式ヲ適用サレタト云フコトハ違法デアッタノデアリマス、左様ナ違法ヲ敢テシタコトガ、議會ニ於ケル問題トナリ、遂ニ内務省當局モ昨午カラ省令ヲ以テ適用シテ行クト云フコトヲ決メタノデアリマス、サウ致シマスルト昭和八年カラ昭和十年迄ノ間、滿二箇年間ニ於ケル所ノ、法令ニ依ラズシテ、當局ガ公式適用ニ依ッテ受ケタ損害ト、云フモノハ——假ニ公式適用ニ依リマスルト、ドウシテモ北海道ノ實情ニ於キマシテハ内地ト違ヒマスノデ、段々他ノ委員諸君ノ御説明ガアツタガ、公式適用ヲスルコトニ依ッテ、ドウシテモ一分位ノ損害ハアルノデアリマス、サウスルト北海道ノ建設費ハ、全部デ三千五百萬圓假ニアルト致シマス、一箇年一分違ヒマスカラ、三十五萬圓違フノデアリマス、昭和八年、九年ノ二箇年ニ、公式適用ニ依ッテ受ケタ損

害ハ、七十萬圓ノ損害ヲ受ケテ居ルト云フコトニナルノデアリマス、北海道ノ私設鐵道ガ今日喘イデ居ルノニ、七十萬圓モ公式適用ノ、當局ノ斯様ナ違法——違法ト言ヘバ違法デアリマス、言葉ハ強イノデアリマスケレドモ、私決シテ糾彈スル意味デハアリマセヌガ、左様ナ穩當デナイコトニ依ッテ、私設鐵道ガ二箇年ニ七十萬圓モ假ニ缺損ヲ致シテ居ルトスレバ、是ハ重大ナ問題デアリマス、ソレニ依ッテ北海道ノ私設鐵道ト云フモノハ、當然改善サレルモノガ改善出來ナカッタト云フヤウナ事情ノモノガ、殆ド今度又折角御當局ノ御力ニ依ッテ五箇年延長ガ實施サレルノデアリマスカラ、一同愁眉ヲ開イテ居ル次第デアリマス、此際一層是等ノ過去ニ於ケル所ノ實情ト云フモノヲ御認識下サツテ、斯様ナコトガ過去ニ於テ若シ落度デアルト云フコトヲ御認メニナルナラバ、將來ノ公式適用ニ付テモ御考願ヒタイ、現在七分乃至九分ノ補助率ト云フコトニナッテ居リマスノヲ、聞ク所ニ依ルト先程長官ノ御説明ニ依ッテモ、鐵道省ノ率ニ從ッテ、或ハ一分位下ゲルノデヤナйкаト云フヤウナ懸念モサレルノデアリマス、七分ヨリ九分ト云フ補助ガ、六分ヨリ九分ト云フコトニナリマス、又一分補助率ガ下ル、

今度補助率ガ勅令ニ依ッテ決マルノデアリマスガ、今日勅令ガアリマセヌカラ分リマセヌガ、勅令ヲ御決定ニナル時又六分ト下リマス、更ニ私設鐵道ガ一分ノ損害ヲ見ルコトニ相成ルノデアリマスカラ、此勅令ヲ適用致シマスルニ付キマシテハ、唯公式ヲ適用スルコトガ妥當ダト云フヤウナ、左様ナ形式的ノ御考デナク、北海道ノ實情ト云フモノハ餘程違フノダト云フ御認識ノ下ニ是非現在マデノ補助率ノ如ク、七分乃至九分ト云フヤウナ内容ニ、勅令ヲ御決定ヲ願ヒタイト云フコトヲ熱願致スノデアリマス、御腹案デモアリマシタナラバ、多少此點ニ付テノ御答ヲ願ヘレバ結構ト思フノデアリマス

○中村北海道廳部長 今後ノ年限延長ニ伴ヒマス場合ノ補助歩合ハ、御趣旨ハ御尤デアリマスケレドモ、先程モ申上ゲマシタヤウニ、豫算ノ拘束モ受ケマスノデ、ドウシテモ從來ノ率ヨリモ稍、低減セネバナルマイカト云フコトハ豫想サレマスケレドモ、マダ研究中デアリマスカラ、此際明確ニ申上ゲルコトハ困難デアリマス

○南條德男君 最後ニ、此點ハ御明言ニナリマセヌガ、色々他ノ委員トノ質疑内容其他ニ付テモ、十分御分リノ通りデアリマス

カラ、ドウゾ此點ニ付テハ十分ナル御留意ト、道民一般ノ希望トヲ御洞察下サイマシテ、是非此點ニ付テノ深キ御同情ヲ賜リタイコトヲ御願シテ、自分ノ質疑ヲ打切りタイト思ヒマス

○清瀬委員長 大體此委員會ニ付託サレマシタ三案ノ質問ハ、是デ終ッタイ思ヒマス、就キマシテハ午後四時マデ休憩致シマシテ、午後四時ニ再開致シテ、此案ニ對スル賛否ノ決ヲ採リタイト思ヒマス、暫ク休憩致シマス

午後零時十五分休憩

午後四時十分開議

○清瀬委員長 開會致シマス、此委員會ニ付託セラレマシタ三案ハ、質疑ヲ終局致シタモノト認メマシテ、討論ニ移リタイト思ヒマス——先ヅ順序ト致シマシテ地方鐵道補助法中改正法律案ヲ討論採決致シタイト思ヒマス

○堀内委員 地方鐵道補助法中改正法律案ニ關シマシテハ今回既ニ十箇年ノ期限ノ經過シタモノヲ更ニ五年繼續スルト云フコトデアリマシテ業者ノ爲ニ洵ニ結構ナ法律ト考ヘマス、實ハ五年延長ノ分ニ對シマシテ運輸數量等ノ關係モアリマシテ、成績ノ惡

イ鐵道ガ四分ニ達シナイ場合モアリマスコトヲ多少遺憾ト致ス點モアリマスガ、併シ豫算ニ限リノアルコトデモアリマスシ、又自力更生ヲ促シテ四分ニ到達スルヤウニ協調ヲ圖ルト云フコトノ政府ノ御趣旨デモゴザイマスシ、又金額ガ餘レバ他ニ廣ク均霑サセルト云フヤウナ御趣旨デモゴザイマスカラ、本原案ノ通り賛成致ス次第デゴザイマス

○田子委員 此改正法律案ノ根本ノ趣意ハ、地方鐵道ノ運營ヲ補助シ、效用ヲ増進スル、從來ノ補助制度ニ新ナ變革ヲ加ヘタモノトシマシテ、新時代ノ要求ニ即スルモノト考ヘマス、併ナガラ是ノ運用ハ要スルニ命令ノ定ムル所ニ依リマスノデ、相當此附屬命令ニ付キマシテハ此趣旨ニ十分ニ副フヤウニナサルコトヲ希望致シマシテ本案ニ賛成ヲ致シマス

○林委員 本法案成立ノ曉之ヲ實施スルニ當リマシテハ、質疑中、私ガ希望致シテ置キマシタ公式計算ニ付テハ、是ハ全國劃一ニ一本ノ公式デヤルト云フコトハ其實際ニ適セザル憾ミガアリマスガ、此點ニ付テハ當局モ研究スルト云フコトデアリマスノデ、ドウゾ此點速ニ御研究御實施ヲ願ヒタイノデアリマス、此希望ヲ附加致シマシテ原案

可決ノ動議ニ賛成致シマス

○清瀬委員長 別ニ御異議ハナイト認メマスガ、全會一致可決シタモノト認メテ宜シウゴザイマスカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○清瀬委員長 全會一致本案ハ可決致シマシタ

次ニ横莊鐵道株式會社所屬鐵道外三鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案ノ賛否ヲ御諮致シマス

○堀内委員 横莊鐵道株式會社所屬鐵道外三鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案デアリマスルガ、此買收ノ必要ニ依リマシテ、或ハ省線ノ延長デアルトカ、或ハ省線ノ連絡デアルトカ云フヤウナ、ソレノ皆國有鐵道ニ對シテノ必要ナ路線ト考ヘマシテ、買收ニ賛成ヲ致シマス、唯、買收價格ヲ決定シマスル際ニ於キマシテ、利益ノ算定等ニ付キマシテ、中ニハ急ニ此利益率ナドガ増額致シテ居ルヤウナ場合モアリマス、此點ハ先般カラノ質問ニ御答ニナツタ點モアルヤウデアリマスルガ、マダ能ク其内容ヲ調査シテ見ナイト云フコトデアリマス、ドウゾサウ云フ計數ニ付キマシテハ十分ニ御検討ヲ戴キマシテ、苟モ加算スベカラザルモノガ加算シテアルトカ、控除スベカラザ

ルモノガ控除シテアルト云フヤウナ場合ガ若シアリト致シマシタナラバ、其點ハ十分ニ御検討ヲ願ヒタイト思ヒマス、左様致シマシテ適正ナル價格ヲ御決定ニナルコトヲ希望致シテ此案ニ賛成ヲ致シマス

○田子委員 横莊鐵道外三會社ノ買收公債法案ニ賛成ノ意思ヲ表明致シマス、本案ハ建設計畫ニ主トシテ伴フ買收デアリマシテ、已ムヲ得ナイモノト認メマス、同時ニ又各地方ニ於キマシテ買收ノ必要ニ迫ラレツツ、交付公債ノ額ノ制限ノ爲ニ其實現ヲ見ナイモノモ多アルヤウニ存ジマスガ、政府ハ宜シク今後ニ於テ善處セラレンコトヲ希望致シマス

○林委員 運輸系絡上買收ノ必要アルモノハ本案ノ外尙ホ多數取殘サレテアルト存ジマスルガ、政府ハ速ニソレ等ノ買收計畫ヲモ立テラレンコトヲ希望致シマシテ、本案ニ對シテハ原案可決ニ賛成致シマス

○清瀬委員長 別ニ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○清瀬委員長 異議ナシト認メマシテ本案モ亦全會一致ヲ以テ可決致シタコトヲ宣言致シマス

次ニ大正九年法律第五十六號中改正法律案、即チ北海道拓殖鐵道補助ニ關スル件ヲ

議題ニ致シマス

○手代木委員 私ハ北海道拓殖鐵道補助ノ年限五箇年延長改正案ニ對シマシテ、三ツノ希望ヲ述べマシテ原案ニ賛成ヲ致シタイト思フノデアリマス

其第一ハ、現在十五箇年ノ期間内ニ於テ補助ヲ受ケテ居ル鐵道ニ對スル問題デアリマスルガ、是ハ昨年九月ニ勅令ヲ改正セラレテ其率ヲ七分乃至九分ニ減率ヲサレタノデアリマス、サウシテ其上ニ公式ヲ適用セラレタノデアリマスガ、實際ニ於テハ此七分乃至九分ト云フモノハ實收五分内外ニ減ジタ結果ニナツテ居ルノデアリマス、ソレデ茲ニ率ヲ下ゲタ以上、其上ニ尙ホ公式ヲ適用シテ減率ヲスルト云フヤウナコトハ不適當ト思フノデアリマシテ、先程質疑ノ際ニ意見ヲ述べテ當局ノ御意向ヲ伺ッタノデアリマスガ、既ニ省令ヲ改正サレタ以上、其撤廢ヲ圖ラレル迄ハ之ヲ適用セラレルコトハ已ムヲ得ナイノデアリマスガ、何トカ今後ニ於テ十分ニ研究セラレ、ソシテ其公式ノ適用ヲ撤廢セラレタイト思フノデアリマス、只今地方鐵道補助法改正ノ際ニ林君カラ希望ガアリマシタヤウニ、公式適用モ全國一本デハ妥當デナイ、當局ニ於テモ之ヲ認メラレテ研究セラレルト云フコトデア

リマスレバ、サウ云フ所ニ是モ觸ル、問題ニナルノデアリマス、假ニ公式ヲ適用スルトスルナラバ、ヤハリ其趣旨ニ從フテ北海道ニ適當ナ公式ヲ定メルコトヲ考ヘテ御實ヒシナケレバナラヌト思フノデアリマス、撤廢ヲ要望スルノデアリマスガ、尙ホ此昭和八年、九年ニ省令ニ據ラズシテ公式ヲ適用シタガ爲ニ、前ニ南條君カラ御質疑ガアリマレナカッタノデアリマス、是等ニ付テ何トカ補填ノ方法ヲ考慮シテ戴キタイト思フノデアリマス、是ガ第一ノ希望デアリマス

第二ハ今回延長セラレル五箇年ノ補助率ニ付テノ希望デアリマスガ、是ハ質疑應答ノ際ノ言葉ニ依ッテ御分リノコト、思ヒマスケレドモ、現行ノ補助率ヲ即チ七分乃至九分ニ致シテ、而シテ公式ヲ適用シナイコトニ願ヒタイ、是ハ朝鮮、臺灣ナドニ較ベマスト、五年間ノ延長期間ノ率トシテ高クハナリマススケレドモ、併ナガラ會社ノ實際ノ成績カラ見マスト、自力ニ依ッテ配當シ得ル會社ガナイノデアリマス、朝鮮、臺灣ハ配當保證ニ當ッテ居ルノデアリマスガ、北海道ハ全く其損失補填デアリマス、サウ云フ關係ガアリマスノデ、ヤハリ是ハ現行ノ七分乃至九分ヲ以テ臨マレルコトガ適當

デアルト思フノデアリマス、若シ之ヲ引下
ガテ或ハ六分乃至八分ナドニセラレルコト
ニナッデ、而モ其上ニ此公式ナドヲ適用セ
ラレルト云フコトニナリマス、實際ノ支
給額ハ四分内外ニナッテシマフノデアリマ
ス、假ニ現行法通りニシテ之ニ公式ヲ現
在ノ通りニ適用スルト云フコトニナレバ、
ヤハリ五分内外ノ支給ニナル譯デアリマ
ス、左様ナ風ニ此五年間ノ率ト云フモノ
ハ、北海道ノ拓殖ヲシテ居ル現狀カラ見マ
シテ、ドウシテモヤハリ七分乃至九分程度
ヲ以テ補助スル、斯ウ云フコトデナケレ
バ、本當ノ發達ハ期サレナイト考ヘルノデ
アリマスカラ、此點ハ特ニ當局トシテ御考
ヲ願ヒタイト思フノデアリマシテ、午前ノ
質疑ニ於テ率ハ勅令ニ一任セラレテ居ルノ
デアルガ、其豫想モマダ立タナイヤウナ御
答辯デ、甚ダ頼リナイコトニ考ヘルノデア
リマス、十分ニ考慮セラレルコト、ハ思フ
ノデアリマスケレドモ、今述ベマシタヤウ
ナコトヲ十分ニ尊重セラル、ヤウニ御願
致シタイト思フノデアリマス、ヤハリドン
ナ最悪ノ場合デモ、現在ヨリ餘リ率ノ下ラ
ナイヤウニ、詰リ會社ノ實收ノ上ニ大シタ
差ノナイヤウニ一ツ御考慮ヲ願ヒタイト思
フ

第三ハ補助金ノ均霑ニ關スル希望デアリ
マスガ、午前ノ質疑ニ於テ明カデアリマス
通り、補助ヲ得ベクシテ尙ホ得ラレナイ所
ノ會社ガアルノデアリマス、是等モ豫算ノ
都合デ何トカ考慮スルト云フ御話デアリ
マスガ、出來得ル限り速ニ是等ニ對シテモ
補助ノ均霑シマヌヤウニ御考慮ヲ願ヒタイ
ト思フノデアリマス、此三ツノ希望ヲ述ベ
マシテ原案ニ賛成ヲ致ス者デアリマス

○尾崎委員 本案ニ對シテ賛成ヲ表スル者
デアリマス、本案ノ改正ニ當リマシテ、政
府委員ノ答辯、委員ノ質問等ヲ拜聽致シマ
スルト、其主ナル要點ハ補助率ガ何程デア
ルカ、又公式ヲ適用スルカ、シナイカ、此
二點ニ懸ッテ居ルヤウデアリマス、併シ之
ニ對スル政府委員ノ御答辯ハ、必ズ考慮ス
ルト云フヤウナ御答辯デアリマシタカラ、
勿論御考慮ヲ願ヘルモノト本員ハ信ズル
ノデアリマス、併シ内地ノ鐵道補助ト、北
海道ノ地方鐵道ニ對スル補助ガ其趣ヲ異ニ
シテ居ル點ハ、北海道ハ御承知ノ如ク拓殖
鐵道デアリマス、北海道ノ拓殖ハ申ス迄モ
ナク國策ノ一端トシテ政府ガ常ニ意ヲ用ヒ
テ居ラレルノデアリマス、此國策ノ一端デ
アリマスル北海道拓殖ニ是等ノ地方鐵道
ガ如何ニ貢獻シテ居ルカト云フコトニ十分

意ヲ用ヒラレテ、サウシテ是等ノ地方鐵道
關係者ノ要望シテ居リマス點ヲ御斟酌下サ
イマシテ、林委員ノ質問ノ中ニアリマシタ
通り、官僚獨善主義ニ陥ラヌヤウニ、又官
僚「イデオロギー」ニ依ル本法ノ改正デア
ト云フヤウニ一般國民カラ取ラレヌヤウ
ニ、庶政一新ノ立前カラ申シマシテモ、舊
態依然タル其勅令ニ依ラヌヤウニ、本當ニ
政府當局ハ御考慮ヲ下サレテ、是等ノ鐵道
關係者ノ要望スル所ヲ十分徹底スルヤウニ
考ヘラレタイト云フコトヲ一言附加ヘマシ
テ、本案ニ賛成スル次第デアリマス

○林委員 原案可決ニ賛成致シマス、但シ
私ノ質疑中ニモ申述ベマシタヤウニ、本法
ノ改正ハ、政府ハ必要アリト認ムル時ハ五
箇年延長スルト云フノデアリマス、其必要
ノ程度ト云フコトガ問題ニナルノデアリマ
スルガ、是ハ當局ノ御答辯ニ依リマスレ
バ、獨立自營ノ出來ルモノハ補助ノ延長ヲ
シナクテモ宜イノダ、而シテ其例トシテ御
舉ゲニナリマシタヤウナ鐵道ハ、未ダ獨立
自營ノ域ニ達シテ居ラスノデアリマス、即
チ凡ソ地方鐵道補助法ニ依ッテ補助スルモ
ノモ、此法律ニ依ッテ補助スルモノモ、獨
立自營ノ出來ナイモノニ對シテ補助ヲ致シ
テ居ル、隨テ現在補助シツ、アルモノハ、

何時デモ獨立自營ガ出來ナイト見ルコトガ
至當ナンデアリマス、故ニ今後著シク業績
ガ改善セラレザル以上ハ、現在ノ法律ニ依ッ
テ補助セラレテ居リマスルモノハ、今後モ
引續キ、此改正法ニ依ッテ補助ヲ與フベキ
モノデアアル、斯様ニ考ヘルノガ至當ト思フ
ノデアリマスルカラ、ドウゾ是ハ政府ガ無
理ナ獨斷ニ陥ラナイヤウニ、此法ノ恩典ガ
均霑致シマスルヤウニ、當局ニ特ニ希望致
シマシテ賛意ヲ表シマス

○塚本委員 私一寸席ヲ外シテ居リマシタ
ノデ……今ノハ大正九年法律第六十五號改
正法律案ダケノ採決デアリマスカ

○清瀬委員長 左様デゴザイマス

○塚本委員 私ハ多少意見ヲ異ニシテ居ル
者デアリマス、外ノ委員ノ方々ハ出來ルダ
ケ補助ノ金額ヲ多クスルコトヲ御希望ニ相
成ッテ居ルヤウデアリマス、私ハ其點デハ
少シ考ガ違フノデアリマシテ、勿論地方鐵
道ト云フモノガ、地方ノ發展竝ニ産業ノ開
發ノ上ニ相當ノ貢獻ヲ爲シツ、アルモノデ
アルト云フコトハ、是ハ否メナイ事實デア
リマス、併ナガラ其處ヘ投資ヲシテ鐵道ヲ
敷設スルト云フコトニ付テハ、當初カラソ
レゾレノ採算ヲ立テ、投資ヲシタモノデア
ラウト思ヒマスガ、現下日本ノ地方鐵道ノ

狀況ヲ見マスルト、概ネ是ハ十分ナル成績ヲ、營利的ニハ舉ゲテ居ライヤウニモ考ヘラレマスガ、ソコニ私ハ又不純ナモノガナイトハ言ヘナイト思フノデアリマス、是ハ將來政府ニ買上ゲテ貰ヘルトカ云フヤウナコトヲ豫想シテ投資ヲシ、敷設スル者モアリマセウシ、又或ハ曩ニ私ハ委員會デ申上ゲマシタヤウニ、鐵道ヲ敷設スルコトニ依ッテ、其附近一帯ノ土地ノ値上リト云フヤウナコトニモナリマセウシ、其事ニ依ッテ得ル所ノ利益ト云フモノヲ目安ニ立テ、投資ヲスル者モアリマセウシ、或ハ又住宅經營等ニ依リマシテ、更ニ傍系會社ヲ造ッテ利益ヲ圖ッテ行カウト云フヤウナコトヲ、意圖シテ居ル者モアリマセウシ、サウ云フ所モ大イニ斟酌シナケレバナラヌノデアリマスガ、大體ノ方針ト致シマシテハ、殊ニ今日ノ低金利時代デモアリマスシ、補助額ト云フモノハ漸次私ハ額ヲ減少シテ行クト云フ方針ヲ執ルベキデアルト信ジテ居ルノデアリマス、地方鐵道ノ補助法改正ノ中ニモ、從來ノ五分ヲ四分ニ下ゲルト云フヤウニナッテ居リマス、是ハ時代ノ然ラシムル所デアッテ當然ノコト、思ヒマス、私ハ補助額ヲ漸次減少シ、將來ハ鐵道サヘ出來レバ政府カラ補助ガ貰ヘルノダト云フ觀念ヲ

一掃シ、飽マデモ補助ヲ受ケナイデヤッテ行ケルト云フ方針ノ下ニ、地方鐵道ガ經營セラル、ヤウニシテ行カナケレバ、何時マデ經ッテモ國家財政ノ上ニ大キナ支出ヲ要スルコト、ナルト思フノデアリマス、私ハ將來漸次額ヲ下ゲテ行クト云フ方針ヲ執ッテ行カナケレバナラスト思ヒマス、其私ノ意見ヲ附加ヘマシテ贊成シテ置キマス

○淺川委員 採決ノ前ニ一寸……各委員カラ希望ガ出テ居リマス、何レモ重大ナル意義ヲ有ッテ居リマス、委員長カラ本會ニ御報告下サイマスカ、御報告下サルナラバ整理ヲシテ簡潔ニシナイト……

○清瀬委員長 會期切迫ノ際デモアリマスルカラ、速記録ヲ見テ戴クコトニシテ、私ノ報告ハ簡單ニ致シタイト思ヒマス

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○清瀬委員長 一通リ御意見ハ承リマシタガ、別ニ御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○清瀬委員長 ソレデハ本案モ亦全會一致可決致シタモノト認メマス、ドウモ皆様長御苦勞様デゴザイマシタ、本委員會ノ任務ハ是デ終リマシタ、散會致シマス

午後四時四十分散會